

倉敷市立自然史博物館報

33

(令和5年度)

化石
など

植物

驚きと
発見の世界へ!

昆虫

動物

第32回特別展
倉敷市立自然史博物館
秘蔵お宝展
2023年
7月15日(土)
|
10月9日(月・祝)
高梁川流域連携中核都市圏事業

倉敷市立自然史博物館

令和6年6月1日発行

目次

I 資料収集保管事業

- 1 寄贈標本 1
- 2 館員による採集 3
- 3 購入 3
- 4 交換 3
- 5 寄託 3
- 6 受入れ点数の推移と受入れ方法の内訳 4
- 7 二次資料 4
- 8 登録済み資料点数 5
- 9 標本・資料整理ボランティアの活動 5
- 10 博物館のお宝探検 5
- 11 館外者による収蔵資料の利用 5
- 12 収蔵資料を活用した業績 5
- 13 収蔵設備（備品等）の充実 6
- 14 収蔵庫の燻蒸 6

II 調査研究事業

- 1 機関研究 6
- 2 分野別研究テーマ 7
- 3 研究業績などの公表 7
- 4 査読 9

III 展示事業

- 1 常設展 9
- 2 特別展 9
- 3 特別陳列 10
- 4 貸出し標本大展示会 10
- 5 ミニ水族館の展示 10
- 6 常設展示の更改 10
- 7 生きた動植物の展示 11
- 8 恐竜のぬり絵 11
- 9 まちかど博物館 11
- 10 他館展示協力 11

IV 教育普及事業

- 1 自然観察会 11
- 2 博物館講座 11

- 3 特別展・特別企画展・特別陳列関連イベント・12
- 4 自然の標本なんでも相談会 12
- 5 地学教室 12
- 6 むしむし探検隊 12
- 7 自然素材を使った手作り教室 12
- 8 ゴールデンウイークスペシャル 12
- 9 第23回 自然史博物館まつり 12
- 10 ナイトミュージアム2024 in 自然史博物館 . . 13
- 11 開館40周年記念スタンプラリー・クイズラリー 13
- 12 出版物 13
- 13 レファレンス 13
- 14 博物館実習生等の受け入れ 13
- 15 講師派遣 14
- 16 マスコミ報道 14
- 17 学校用貸出標本の利用 16
- 18 倉敷市立自然史博物館友の会の活動 16

V 庶務

- 1 沿革 18
- 2 各室現有面積 18
- 3 組織 19
- 4 委員、役員委嘱 19
- 5 会議等派遣 20
- 6 広報活動 20
- 7 職員の研修参加 20
- 8 視察来館 21
- 9 無料開放 21
- 10 予算・決算 21
- 11 年間利用者数 22

倉敷市立自然史博物館中期計画の点検
倉敷市立自然史博物館の運営方針
倉敷市立自然史博物館の資料収集方針
倉敷市立自然史博物館条例
倉敷市立自然史博物館条例施行規則
利用案内

I 資料収集保管事業

1 寄贈標本 (敬称略)

(1) 地学分野 (4件 計約206点)

5月12日	オオツノジカの下顎骨 (右)	1点	高橋芳樹
7月7日	鉱物標本セット	1式	伊藤邦夫
2月22日	化石標本類	4点	太田日出明
3月24日	岩石・鉱物	約200点	浅尾哲次

(2) 植物分野 (60件 計約2,371点)

4月26日	田賀伸太郎氏、寛二氏採集標本	43点	田賀辰也
4月30日	愛知県産植物標本	2点	泉川拡子
5月11日	岡山県産植物標本	5点	小橋理絵子
5月20日	シロバナツタバウンラン	1点	榎本 敬
5月20日	広島県産植物標本	3点	鐵慎太郎
6月8日	維管束植物	34点	溝手啓子
6月10日	岡山県産植物・栽培植物	36点	鐵慎太郎
6月13日	岡山県産菌類	1点	吉竹秋彦
6月13日	ギンリョウソウ	2点	山本公正
6月13日	岡山県産植物	2点	和田 優
6月22日	維管束植物	3点	小橋理絵子
6月27日	岡山県産植物標本	284点	狩山俊悟
6月27日	岡山県産植物標本	107点	狩山俊悟
7月6日	国内県産標本	26点	裾分由美子
7月7日	ホルトソウ	1点	木下延子
7月25日	岡山県産水生植物	2点	守安 敦
8月1日	岡山県産植物	19点	鐵慎太郎
8月9日	オオヤマハコベ	1点	和田 優
8月9日	岡山県産維管束植物	12点	鐵慎太郎
8月9日	ウバユリ	1点	稲神邦代
8月10日	維管束植物	10点	今井桜花
8月10日	維管束植物	11点	飯澤彩羽
8月10日	維管束植物	11点	北之上静香
8月10日	岡山県産維管束植物	19点	裾分由美子
8月10日	岡山県産維管束植物	17点	小橋理絵子
8月15日	岡山県、大分県産維管束植物	104点	片岡博行
8月16日	岡山県産維管束植物	41点	岡本泰典
8月27日	岡山県産水草類	2点	狩山俊悟
9月5日	イバラモ	2点	池本茂豊
9月12日	岡山県産水草類	21点	守安 敦
9月13日	長野県産維管束植物	8点	鐵慎太郎
9月14日	イバラモ	4点	小橋理絵子
9月15日	香川県産維管束植物	9点	鐵慎太郎
9月24日	岡山県、香川県、大分県、宮崎県産 維管束植物	約1,000点	小田哲也
9月24日	ヒュウガセンキュウ	4点	和田 優
9月29日	大分県、熊本県産維管束植物	9点	鐵慎太郎

10月3日	吉井川水系植物	164点	株式会社ウエスコ
10月6日	ヒナノシヤクジョウ、ホンゴウソウ	2点	柿 真理
10月19日	倉敷市産水草類	3点	裾分由美子
10月19日	岡山県産維管束植物	22点	岡本泰典
10月22日	倉敷市産維管束植物	4点	鐵慎太郎
10月22日	真庭市産維管束植物	11点	鐵慎太郎
10月27日	高梁市産維管束植物	18点	鐵慎太郎
11月9日	岡山県・長野県産維管束植物	63点	溝手啓子
11月15日	アイオオアカウキクサ	1点	備中県民局建設部 (松本実)
11月15日	カワラボウフウ	1点	いがりまさし
11月18日	イラクサ属	2点	高橋ひろ子
11月24日	鳥取県産維管束植物	1点	山根宏子
11月24日	岡山県産維管束植物	2点	山田 勝
12月5日	兵庫県産ヒルガオ科植物	3点	岡花泉見
12月9日	岡山県、福岡県産シダ植物	21点	溝手啓子
12月15日	ニシノオオアカウキクサ	1点	倉敷市耕地水路課 (白神彰一)
12月17日	岡山県産維管束植物	38点	裾分由美子
12月21日	クモラン	1点	小橋理絵子
1月20日	ハナガガシ、オキナワウラジロガシ堅果	1点	安田剛長
1月20日	ブナ科果実、葉標本	1点	安田剛長
2月20日	矢掛町産維管束植物	約100点	高月英三
3月13日	ノミノハゴロモグサ	1点	小橋理絵子
3月22日	岡山県産維管束植物	3点	星野卓二
3月24日	維管束植物	約50点	浅尾哲次

(3) 昆虫分野 (83件 計約45,469点)

4月8日	岡山県産昆虫類	3点	貝原千恵子
4月9日	岡山県産昆虫類	1点	駄場崎健
4月11日	岡山県産昆虫類	62点	奥島雄一
4月20日	岡山県産昆虫類	4点	鐵慎太郎
4月26日	岡山県産昆虫類	1点	田賀辰也
4月30日	岡山県産昆虫類	23点	奥島雄一
5月2日	岡山県産昆虫類	13点	奥島雄一
5月7日	岡山県産昆虫類	1点	小橋理絵子
5月16日	岡山県産昆虫類	1点	藤原純子
5月17日	日本産昆虫類	1点	矢野政昭
5月24日	岡山県産昆虫類	2点	芳原翠子
5月26日	岡山県産昆虫類	4点	山地 治
5月27日	岡山県産昆虫類	3点	奥島雄一
5月31日	岡山県産昆虫類	2点	西田美千代
6月4日	岡山県産昆虫類	2点	藤本徹哉

6月8日	日本産昆虫類	15点	難波圭吾	10月27日	岡山県産昆虫類	1点	小橋理絵子
6月16日	岡山県産昆虫類	1点	三澤煌大	11月5日	岡山県産昆虫類	1点	織田明文
6月16日	岡山県産昆虫類	1点	青野孝昭	11月14日	岡山県産昆虫類	1点	奥島雄一
6月16日	世界の昆虫類	約1,000点	青野孝昭	11月24日	日本産昆虫類	1点	鐵慎太郎
6月18日	岡山県産昆虫類	2点	小橋理絵子	11月29日	岡山県産昆虫類	1点	三宅大海
6月21日	岡山県産昆虫類	1点	難波稔明	12月5日	岡山県産昆虫類	2点	芳原翠子
6月22日	岡山県産昆虫類	1点	鐵慎太郎	12月8日	岡山県産昆虫類	2点	芳原翠子
6月23日	岡山県産昆虫類	約11,200点		12月13日	岡山県産昆虫類	1点	稲神邦代
			国際航業株式会社	12月19日	岡山県産昆虫類	2点	織田明文
6月24日	岡山県産昆虫類	約40点	益田芳樹	12月21日	岡山県産昆虫類	20点	小橋理絵子
6月28日	日本産昆虫類	約40点	新堂信彦	12月26日	岡山県産昆虫類	1点	角田勇雄
7月3日	岡山県産昆虫類	1点	奥島雄一	12月27日	岡山県産昆虫類	2点	芳原翠子
7月9日	岡山県産昆虫類	1点	横山 亮	12月28日	岡山県産昆虫類	1点	芳原翠子
7月17日	岡山県産昆虫類	1点	奥島雄一	12月28日	岡山県産昆虫類	4点	芳原翠子
7月17日	世界の昆虫	18点	藤原満徳	1月21日	岡山県産昆虫類	1点	長谷川廉
8月1日	岡山県産昆虫類	1点	山川 遼	2月24日	岡山県産昆虫類	3点	小橋理絵子
8月4日	岡山県産昆虫類	1点		3月1日	世界の昆虫類	約24,000点	竹中躬子
			岡山県自然環境課	3月2日	岡山県産昆虫類	2点	知場三周
8月6日	岡山県産昆虫類	1点	奥島雄一	3月17日	岡山県産昆虫類	1点	小橋理絵子
8月7日	岡山県産昆虫類	1点	奥島雄一	3月21日	日本産昆虫類	3点	江田伸司
8月10日	岡山県産昆虫類	12点		3月31日	世界の昆虫類	約1,300点	末長晴輝
			四宮凜弥・川島柊弥	3月31日	日本産昆虫類	1点	真嶋 豪
8月12日	岡山県産昆虫類	1点	佐藤美清	3月31日	日本産昆虫類	3点	中村 涼
8月12日	岡山県産昆虫類	2点	稲神邦代				
8月15日	岡山県産昆虫類	1点	奥島雄一	(4) 動物分野 (30件 計約751点)			
8月17日	日本産昆虫類	9点	安田剛長	4月4日	シロハラ	1点	奥島雄一
8月21日	岡山県産昆虫類	1点	三澤直たか	4月5日	アオウミガメ剥製	2点	鈴木和夫
8月22日	岡山県産昆虫類	56点	奥島雄一	4月7日	ツバメ	1点	山崎 晃
8月22日	岡山県産昆虫類	1点	奥島雄一	4月7日	キジバト	1点	山崎法子
8月25日	岡山県産昆虫類	1点	不明	4月11日	オシドリ剥製	1点	松岡郁重
8月25日	岡山県産昆虫類	1点	山本公正	4月23日	シメ	1点	坪根真理子
8月27日	岡山県産昆虫類	1点	奥島雄一	4月26日	エナガの巣	1点	高橋 元
9月5日	岡山県産昆虫類	1点		4月27日	タイマイ剥製	1点	逸見祐次
			三澤煌大・優晴	4月29日	マライセンザンコウ剥製	1点	鳥越弘一
9月7日	岡山県産昆虫類	5点	奥島雄一	4月29日	アオウミガメ剥製	1点	田中健史
9月8日	岡山県産昆虫類	1点		5月7日	タイマイ剥製	1点	小林淑子
			倉敷市立二万幼稚園	6月7日	オカダンゴムシ	5点	芳原翠子
9月13日	岡山県産昆虫類	20点	芳原翠子	6月8日	岡山県産カメ類	1点	溝手啓子
9月23日	岡山県産昆虫類	16点	永瀬喜雄	6月23日	クモ類	約700点	
9月26日	岡山県産昆虫類	2点	織田明文				国際航業株式会社
9月27日	岡山県産昆虫類	1点	平井美智子	6月27日	スナメリ	1点	
10月3日	岡山県産昆虫類	1点	高原信子・宏				岡山県備中県民局水島港湾事務所
10月5日	岡山県産昆虫類	6点	大生唯統	6月30日	タイマイ剥製	1点	一寸木肇
10月8日	岡山県産昆虫類	1点	鐵慎太郎	7月16日	メガネカイマン剥製	2点	上園千秋
10月8日	世界の昆虫 (吉田嘉男コレクション)			8月7日	オオゲジ	1点	前原 明
			約6,100点	8月22日	キシノウエトタテグモ	1点	野村未偉可
10月8日	世界の昆虫 (赤枝一弘コレクション)		三宅誠治	8月26日	アブラコウモリ	1点	大江 宏
			1,412点	9月9日	アオウミガメ剥製他	6点	匿名
10月13日	岡山県産昆虫類	1点	芳原翠子	9月26日	アリゲーターガー	1点	岡田俊治
10月15日	岡山県産昆虫類	1点	中尾庸子	10月4日	エゾシカ落角	1点	狩山俊悟
10月22日	日本産昆虫類	8点	中田勝之	10月6日	アカウミガメ腹甲	1点	中村英明
10月25日	日本産昆虫類	4点	藤本徹哉	10月12日	アオウミガメ剥製	1点	政木慶彦

11月9日	アオジ	1点	藤原健補	10月22日	倉敷市呼松町、福田町広江、菰池、下津井	
11月17日	ハイタカ	1点	沖藤善則		(10月5日)	24点
2月4日	ナマズ	1点		2月10日	岡山市北区津島中(10月21日)	2点
			竹本理起・竹本健悟	3月12日	倉敷市向山(3月8日)	2点
2月20日	トラツグミ	1点	池本茂豊	3月19日	倉敷市水江、高梁市備中町長屋	
2月22日	剥製・骨格標本等	12点	太田日出明		(3月16日)	10点

2 館員による採集

※受入日≠採集日の場合、採集日はカッコ内に記載。

(1) 植物分野(無記名は鐵慎太郎採集) 計226点

5月20日	岡山市北区、倉敷市矢部(4月9日)	25点
6月10日	倉敷市福江(4月20日)	5点
6月10日	浅口市金光町占見～占見新田(4月30日)	11点
6月10日	浅口市金光町占見～占見新田(5月7日)	4点
6月10日	倉敷市鶴形(5月7日)	1点
6月10日	倉敷市福田町～福田町古新田(5月10日)	12点
6月10日	倉敷市向山、羽島、船倉町(5月11日)	5点
6月27日	里庄町里見(2022年4月6日)	
	(狩山俊悟)	1点
6月27日	玉野市沼(2022年5月13日)(狩山俊悟)	1点
6月27日	新庄村野土路(2022年5月19日)	
	(狩山俊悟)	1点
6月27日	高梁市備中町平川(2022年5月25日)	
	(狩山俊悟)	1点
6月27日	新見市神郷町油野(2022年6月8日)	
	(狩山俊悟)	1点
6月27日	高梁市川面町(2022年6月26日)	
	(狩山俊悟)	1点
6月27日	新庄村田浪(2022年9月9日)	
	(狩山俊悟)	2点
6月27日	吉備中央町西(2022年10月26日)	
	(狩山俊悟)	2点
7月5日	倉敷市福田町福田(5月21日)	4点
7月5日	倉敷市玉島黒崎、浅口市金光町佐方	
	(5月24日)	11点
7月5日	倉敷市酒津(5月31日)	12点
7月5日	矢掛町東三成(6月9日)	2点
7月5日	総社市下倉(6月17日)	2点
7月5日	矢掛町東三成(6月18日)	16点
7月5日	倉敷市三田～二子(6月21日)	11点
7月5日	倉敷市真備町妹(6月29日)	5点
7月5日	総社市下倉(7月1日)	1点
7月5日	倉敷市老松町(7月11日)	1点
9月13日	倉敷市八軒屋(9月10日)	16点
9月29日	新見市大佐大刑部、足立、神郷油野	
	(9月9日)	33点
10月19日	倉敷市阿知	1点

(2) 昆虫分野(無記名は奥島雄一採集) 計280点

4月30日	浅口市金光町占見新田	23点
5月7日	浅口市金光町占見新田(鐵慎太郎)	2点
5月7日	浅口市金光町占見新田	3点
5月10日	倉敷市福田町福田～福田町古新田	28点
5月12日	倉敷市中央	1点
5月16日	倉敷市中央	1点
5月21日	倉敷市福田町福田	2点
6月4日	新見市牛丸大仙	54点
6月9日	矢掛町東三成	9点
6月18日	矢掛町東三成	1点
7月7日	倉敷市向山他(芳原翠子)	5点
7月7日	倉敷市向山	9点
7月26日	倉敷市連島町西之浦	4点
7月30日	倉敷市向山(高橋このか)	2点
7月30日	倉敷市向山(三谷潤二郎)	2点
7月30日	倉敷市向山(芳原翠子)	3点
8月3日	倉敷市粒江種松山	5点
8月25日	倉敷市中央(鐵慎太郎)	1点
8月26日	倉敷市中央	1点
9月10日	笠岡市小飛島	53点
9月20日	倉敷市福田種松山(5月10日)	
	(鐵慎太郎)	2点
10月21日	岡山市北区津島中	7点
11月5日	倉敷市中央(池田愛奈)	1点
11月19日	瀬戸内市牛窓町前島	37点
11月28日	倉敷市中央(江田伸司)	1点
12月17日	瀬戸内市牛窓町前島	21点
3月31日	倉敷市八軒屋(鐵慎太郎)	2点

3 購入

3月5日	ネズミザメの歯の化石	1点
	株式会社ナリカ	

4 交換

なし

5 寄託

なし

6 受入れ点数の推移と受入れ方法の内訳

年度	地学	植物	昆虫	動物	受入れ点数	累計点数
1983以前		50,000			50,000	50,000
1983		1,664	約 42,627	562	約 44,978	約 94,978
1984	67	1,530	約 1,554	約 3,558	約 6,709	約 101,687
1985	153	3,079	1,842	445	5,519	約 107,206
1986	約 110	約 5,299	約 2,166	約 3,679	約 11,254	約 118,460
1987	約 335	11,559	約 1,938	約 2,660	約 16,492	約 134,952
1988	6	4,145	約 3,886	約 2,448	約 10,485	約 145,437
1989	1,057	4,138	約 2,295	約 1,217	約 8,707	約 154,144
1990	5	4,226	484	約 1,192	約 5,907	約 160,051
1991	0	3,672	708	約 1,390	約 5,770	約 165,821
1992	約 19	3,759	約 4,486	約 822	約 9,086	約 174,907
1993	398	3,583	2,334	972	7,287	約 182,194
1994	145	3,367	約 4,891	703	約 9,106	約 191,300
1995	20	3,634	約 3,413	約 2,256	約 9,323	約 200,623
1996	45	6,284	約 1,883	約 36	約 8,248	約 208,871
1997	303	6,358	約 3,227	約 316	約 10,204	約 219,075
1998	763	8,945	約 9,281	約 443	約 19,432	約 238,507
1999	25	26,852	約 36,051	約 298	約 63,226	約 301,733
2000	40	12,398	1,062	16	約 13,516	約 315,249
2001	27	約 12,496	約 21,630	約 1,833	約 35,986	約 351,235
2002	約 1,015	8,020	約 13,385	約 442	約 22,862	約 374,097
2003	11	6,662	約 31,676	21	約 38,370	約 412,467
2004	約 95	6,004	約 43,298	約 165	約 49,562	約 462,029
2005	33	約 7,224	約 13,861	約 889	約 22,007	約 484,036
2006	18	3,652	約 13,874	約 840	約 18,344	約 502,420
2007	約 216	4,431	約 1,393	約 98	約 6,138	約 508,558
2008	58	4,484	約 839	約 542	約 5,923	約 514,481
2009	37	3,183	約 3,230	約 206	約 6,656	約 521,137
2010	約 1,008	10,346	約 16,635	約 72	約 28,061	約 549,198
2011	69	9,032	約 46,371	約 269	約 55,741	約 604,939
2012	361	約 10,801	約 63,907	約 3,123	約 78,192	約 683,131
2013	61	3,305	約 17,421	約 945	約 21,732	約 704,863
2014	約 869	約 9,062	約 15,070	約 999	約 26,000	約 730,863
2015	140	5,334	約 30,068	約 30,013	約 65,555	約 796,418
2016	約 320	約 8,570	約 10,499	約 10,094	約 29,483	約 825,901
2017	約 410	約 7,876	約 20,574	約 1,500	約 30,360	約 856,261
2018	約 4,054	約 9,002	約 45,659	約 2,187	約 60,902	約 917,163
2019	約 102	約 10,206	約 48,503	約 56	約 58,867	約 976,030
2020	0	約 2,009	約 5,578	約 41	約 7,628	約 983,658
2021	約 324	約 5,594	約 9,545	約 35,232	約 50,695	約 1,034,353
2022	1	約 8,908	約 4,438	約 82	約 13,429	約 1,047,782
2023	約 207	約 2,597	約 45,749	約 751	約 49,304	約 1,097,086
合計	約 13,052	約 323,290	約 647,331	約 113,413	約 1,097,086	

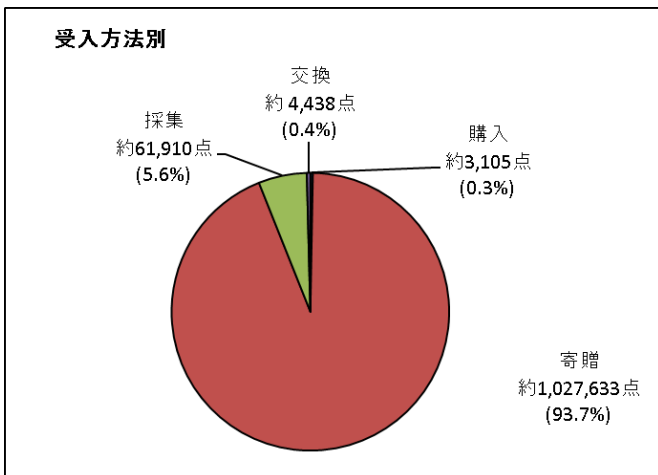
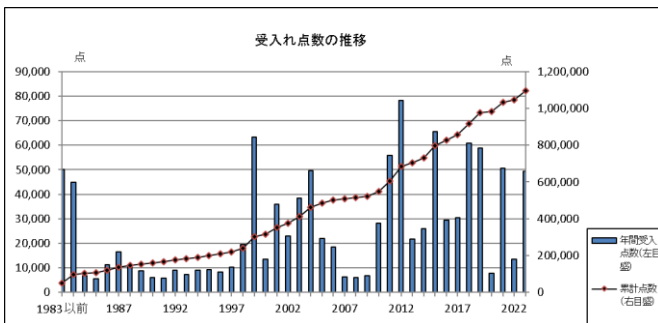
7 二次資料

(1) 寄贈者、交換先(敬称略、入力完了分のみ)

[個人] 稲神郁代、宇野弘之、江田伸司、大屋厚夫、奥島雄一、狩山俊悟、片山久、川上節子、清水健一、積木久明、間野幹男。

[機関・団体] 北海道博物館、帯広百年記念館、浦幌町立博物館、ひがし大雪自然館、旭川市博物館・旭川市科学館、三笠市立博物館、美幌博物館、北海道博物館、根室市歴史と自然の資料館、利尻町立博物館、北見市教育委員会、北方山草会、青森県立郷土館、岩手県立博物館、宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団、秋田県立博物館、秋田大学大学院国際資源学部附属鉱業博物館、米沢市上杉博物館、森林総合研究所、ミュージアムパーク茨城県自然博物館、森林総合研究所、那須平成の森フィールドセンター、栃木県立博物館、那須平成の森フィールドセンター、那須塩原氏那須野が原博物館、ぐんま昆虫の森、群馬県立自然史博物館、下仁田町自然史館、群馬県立自然史博物館、群馬県立博物館友の会、ぐんま昆虫の森、埼玉県立川の博物館、埼玉県立自然の博物館、山階鳥類研究所、千葉県立中央博物館、千葉県立中央博物館房総の山のフィールドミュージアム、千葉県文書館県史・古文書課、東レ科学振興会、山階鳥類研究所、日本博物館協会、国立科学博物館、清水書院、日本離島センター、河合出版、日本昆虫学会、全国科学博物館協議会、日本鯨類研究所、世界自然保護基金日本委員会、国立国会図書館、府中市郷土の森博物館、日本昆虫協会、日本文化財保護協会、東京大学総合研究博物館、日本チョウ類保全協会、Publication Committee for the Cetacean

Population Studies、目黒寄生虫館、クマヒラ・ホールディングス、日本甲虫学会、平塚市博物館、横須賀市自然・人文博物館、神奈川県立生命の星・地球博物館、日本大学生物資源科学部博物館、環境再生保全機構、観音崎自然博物館、神奈川県植物誌調査会、環境省自然環境局生物多様性センター、大町山岳博物館、飯田市美術博物館、野尻湖ナウマンゾウ博物館、大町山岳博物館、長岡市立科学博物館、富山県中央植物園、石川県白山自然保護センター、石川県ふれあい昆虫館、石川県立自然史資料館、福井市自然史博物館、福井県立恐竜博物館、岐阜県博物館、瑞浪市化石博物館、なごや生物多様性保全活動協議会、沼津市歴史民俗資料館、NPO 静岡県自然史博物館ネットワーク、熱川バナナ・ワニ園、浜松科学館、名古屋市環境局なごや生物多様性センター、新城市鳳来寺山自然科学博物館、豊橋市自然史博物館、豊田市矢作川研究所、三重県総合博物館、三重自然誌の会、三重貝なかま、鳥羽水族館、藤原岳自然科学館、滋賀県立琵琶湖博物館、京都大学総合博物館、日本地学研究会、関西菌類談話会、大阪府菅箕面公園昆虫館、関西自然保護機構、きしわだ自然資料館、ニホン・ミック、伊丹市昆虫館友の会、伊丹市昆虫館、兵庫陸水生物研究会、兵庫県立人と自然の博物館、兵庫県植物同好会、農林水産省神戸植物防疫所、神戸女子大学、近畿植物同好会、和歌山県立自然博物館、鳥取県立博物館、日本鱗翅学会中



国支部、氷ノ山自然ふれあい館響の森、公益財団法人中海水鳥国際交流基金財団、鳥取昆虫同好会、鳥取県生活環境部緑豊かな自然課、ホシザキグリーン財団、島根県立宍道湖自然館、島根県立三瓶自然館、(財)三瓶フィールドミュージアム財団、岡山大学文学部、岡山県博物館協議会、倉敷市市史編さん室、岡山県古代吉備文化財センター、岡山県郷土文化財団、倉敷野鳥の会、岡山の自然を守る会、津山市教育委員会産業文化部文化課津山弥生の里文化財センター、津山市教育委員会文化課、岡山淡水魚研究会、岡山商科大学学芸員課程、日本野鳥の会岡山県支部、岡山県立美術館、岡山淡水魚研究会、岡山県農林水産センター、岡山県自然保護センター、山陽新聞社販売局、鏡野町くらし安全課、倉敷市公聴広報課、岡山県環境保全事業団、岡山市立オリエント美術館、林原自然科学博物館、日本博物館協会中国支部、岡山コケの会、岡山理科大学フロンティア理工学研究所、半田山植物園、岡山県環境保健センター、岡山県博物館協議会、浅口市寄島町アッケシソウを守る会、高梁川流域連盟、岡山昆虫談話会、広島大学総合博物館、庄原市立比和自然科学博物館、中国電力(株)エネルギー総合研究所、広島県立歴史博物館、広島市植物公園、萩博物館、秋吉台科学博物館、防府市青少年科学館、山口県立山口博物館、徳島県立博物館、みんなで作る自然史博物館・香川、香川大学教育学部生物学教室、瀬戸内むしの会、日本昆虫分類学会、愛媛県総合科学博物館、高知県牧野記念財団、森林総合研究所四国支所、高知県越知町立横倉自然の森博物館、九州大学総合研究博物館、九州保健福祉大学、九州大学総合研究博物館、佐賀自然史研究会、天草市立御所浦白亜紀資料館、熊本博物館、熊本市立熊本博物館、天草市立御所浦白亜紀資料館、宮崎県総合博物館、Deutsches Entomologisches Institut、Deutsches Entomologisches Institut

- (2) 寄贈(入力完了分のみ)
単行書: 513冊、雑誌: 777冊
- (3) 交換(入力完了分のみ)
単行書: 51冊、雑誌: 344冊
- (4) 購入
[備品] 単行書: 1冊
[消耗品] 単行書: 21冊、雑誌: 55冊

8 登録済み資料点数 (令和6年3月31日現在)

- (1) 地学 計12,552点 (内5年度 512点)
鉱物 2,460点 (内5年度 5点)
岩石 1,586点 (内5年度 14点)
化石 8,506点 (内5年度 493点)
- (2) 植物 計255,242点 (内5年度2,383点)
維管束植物 255,042点 (内5年度2,383点)
コケ植物 200点 (内5年度 0点)

- (3) 昆虫 計241,075点 (内5年度2,127点)
日本産昆虫類 197,035点 (内5年度2,121点)
外国産昆虫類 44,040点 (内5年度 6点)
- (4) 動物 計 38,921点 (内5年度 6点)
無脊椎動物 22,958点 (内5年度 3点)
哺乳類 129点 (内5年度 1点)
鳥類 223点 (内5年度 2点)
両生類・爬虫類 398点 (内5年度 0点)
魚類 15,139点 (内5年度 0点)
その他 74点 (内5年度 0点)
- (5) 二次資料
図書 14,383冊 (内5年度 586点)
逐次刊行物 47,229冊 (内5年度1,176点)

9 標本・資料整理ボランティアの活動 (計延べ744人)

- (1) 植物分野(敬称略)
松田恵子、入江和喜、伏見滋子、狩山俊悟、秋山真緒、大江宏、亀山夏美、川崎嘉子、裾分由美子、溝手啓子。延べ218人。
- (2) 昆虫分野(敬称略)
大屋厚夫、岡野貴司、小野淳平、亀山夏美、北村涼子、児島光朔、齋藤荘志、斉藤陽一、宮原康則、八木悠介、山地治、山元修成、芳原翠子。延べ149人。
- (3) 動物分野(敬称略)
岡田千誠、小橋理絵子、山崎法子、山野ひとみ。延べ108人。
- (4) 博物館友の会脊椎動物グループ
事業の概要: 駆除個体の譲り受けと事故個体の拾得により、ボランティア主導で動物標本の作製と活用に取り組み、スキルアップを目指す。作製した標本は博物館資料として恒久的な管理のもとで展示、普及活動で活用し、博物館活動の輪を一般市民に広げる。延べ269人。

10 博物館のお宝探検

自由に立ち入ることができない標本収蔵庫を案内し、博物館資料の保管状況や貴重なお宝標本を見ていただいた(予約制+イベント)。植物4回10人、昆虫23回218人。

11 館外者による収蔵資料の利用 (ボランティア活動、お宝探検除く、来館+貸出)

地学2件、植物33件、昆虫104件、動物2件、二次資料34件。

12 収蔵資料を活用した業績 (使用後、当館へ寄贈されたものも含む) 計17件

(1) 植物分野 (3件)

鐵慎太郎、岡山県の島でツメレンゲ (ベンケイソウ科) を記録. しぜんしくらしき、(125):4. (10月1日)

柳浦正夫・矢田貝繁明・井上雅仁、中国地方のウスバサイシン節の分布とイズモサイシンとウスバサイシンとの形態比較. 島根県立三瓶自然館研究報告、22:27-34. (3月)

柿真理・難波靖司、岡山県におけるヒナノシヤクジョウとホンゴウソウの新産地. 岡山県自然保護センター研究報告、(31):19-22. (3月31日)

(2) 昆虫分野 (14件)

奥島雄一、混棲するコアオハナムグリとアオヒメハナムグリ. しぜんしくらしき、(124):1. (6月1日)

日下 (隆春)、希少なチョウ「ウスイロヒョウモンモドキ」. 広報かがみの、(221):32. (7月1日)

奥島雄一、100年後に後悔しないための、とりあえずもらう努力. 日本昆虫学会第83回大会プログラム・講演要旨集、p.90. 日本昆虫学会 (web). (9月)

Nakamura, R. & K. Kubota, Taxonomic study of the Japanese endemic genus *Yukikoa* M. Satô (Coleoptera, Cantharidae) with descriptions of two new species. Zootaxa, 5351(5):581-589. (9月29日)

奥島雄一、基調講演:自然史資料をめぐるあげる側ともらう側の事情. 企画展「北海道のオサムシ〜松本堅一コレクション展〜」開催記念シンポジウム「標本は未来へのおくりもの〜百年後に残す博物館の取り組み〜」. 釧路市立博物館館報、(432):7-8. (9月30日)

奥島雄一、吉備真備公園の昆虫. しぜんしくらしき、(125):10. (10月1日)

Nakamura, R., A new species of the genus *Asiopotabrus* (Coleoptera, Cantharidae) from the Oki Islands, Japan. Elytra, New Series, 13(2):301-305. (11月25日)

末長晴輝、チュウゴクアミガサハゴロモの岡山県における初記録. 月刊むし、東京、(634):12-13. (12月1日)

奥島雄一、岡山県におけるセスジジョウカイ種群2種の記録. さやばねニューシリーズ、つくば、(52):54-55. (12月31日)

國本尚憲・奥島雄一、向山公園の昆虫. しぜんしくらしき、(126):9. (2月1日)

山川遼・奥島雄一、岡山県におけるサツマヒメカマキリの追加記録と訂正. しぜんしくらしき、(126):14-15. (2月1日)

有田齊・朝日純一、珠玉の標本箱、日本産蝶類標本写真およびデータベース(30)、セセリチョウ科①. NRC出版. 69 pp. (2月20日)

大生唯統、岡山県におけるアイヌコブスジコガネの採集記録. 月刊むし、東京、(637):43. (3月1日)

共著:加藤学・小橋理絵子・杉山和美・青野孝昭・奥島雄一、岡山県における台湾タケクマバチの分布と生態情報について. すずむし、倉敷、(159):3-6. (3月31日)

13 収蔵設備 (備品等) の充実

購入・寄贈・自作なし.

14 収蔵庫の燻蒸

場所:第1収蔵庫 (使用薬剤:エキヒュームS)

期間:6月18日~6月20日

II 調査研究事業

1 機関研究

(1) 岡山県下の自然に関する総合調査研究 (調査日)

ア 地学分野:武智泰史

4月23日、30日、5月7日、6月9日、18日、11月19日、25日、12月17日、12月24日.

イ 植物分野:鐵慎太郎

4月9日、23日、30日、5月7日、20日、24日、6月3日、9日、17日、18日、7月1日、9月9日、10月21日、11月19日、12月17日、2月14日、3月16日.

ウ 昆虫分野:奥島雄一

4月30日、5月7日、6月4日、9日、18日、9月10日、10月21日、11月19日、12月17日.

エ 動物分野:江田伸司

4月30日、5月7日、13日、6月9日、18日、7月8日、26日、12月17日、22日.

(2) 倉敷市内の自然に関する総合調査研究 (調査日)

ア 植物分野:鐵慎太郎

4月6日、16日、20日、5月4日、10日、11日、13日、17日、20日、21日、24日、31日、6月8日、21日、25日、29日、7月6日、19日、8月2日、26日、30日、9月10日、13日、10月5日、11日、12日、15

日、11月8日、12日、15日、24日、12月6日、16日、
2月27日、3月8日、16日、19日、31日。

イ 昆虫分野：奥島雄一

5月10日、21日、7月7日、21日、26日、27日、30
日、8月3日、12日、16日、9月1日、8日、20日、
10月17日、26日、3月2日。

ウ 動物分野：江田伸司

4月29日、5月10日、21日、10月4日、21日。

2 分野別研究テーマ

(1) 地学：武智泰史

地質鉱物の研究。

(2) 植物：鐵慎太郎

ア 岡山県のフロラ（植物相）の把握。

イ 倉敷市内の植生を対象とする調査研究。

ウ 収蔵標本を活用した植物学的研究。

エ 「岡山県植物誌研究会」に対する研究支援。

(3) 昆虫：奥島雄一

ア 岡山県の昆虫調査。

イ ジョウカイボン科（コウチュウ目）の分類学的研
究。

ウ 自然史資料の収集と活用について。

(4) 動物：江田伸司

岡山県の動物調査。

3 研究業績などの公表

(1) 2月24日 「学芸員研究紹介－植物－：今年度の植物
調査で分かったこと」、23(3)人。

3月9日、「ブッポウソウのお話」演者：江田伸司・
黒田聖子、8(0)人。

(2) 博物館講座「むしむし探検隊公開研究発表会」（教育
普及事業に再掲）

3月20日、「自然観察会で採集した岡山県新発見の甲
虫」演者：奥島雄一、66(18)人。

(3) 当館より発行された刊行物

倉敷市立自然史博物館研究報告第39号、3月25日、
480部発行、A4判、74ページ、本文モノクロ、寄贈交
換先へ配布するほか、1部1,140円（税込）で有料頒
布。

収録報文（*は館外研究者）

[論文]

三宅誠治*：故吉田嘉男氏収集の日本産蝶類標本の目
録と所見。

福田 宏*：岐阜県博物館所蔵岡山県産貝類標本の再
検討。

(4) 当館以外の刊行物への寄稿（68件）

ア 武智泰史：地学担当（3件）

パキスタンの宝石、自然のおはなし、山陽新聞。
（5月14日）

エクロジャイト、自然のおはなし、山陽新聞。（9
月6日）

かんらん岩、自然のおはなし、山陽新聞。（1月10
日）

イ 鐵慎太郎：植物担当（12件）

ドイツ自然観察記4 「Boge Gorgeの森林」。しぜん
しくらしき、(124):7-8。（6月1日）

冬の公園での観察会。しぜんしくらしき、
(124):13。（6月1日）

岡山で見つかった植物 牧野博士が新種発表や命
名。自然のおはなし、181、山陽新聞（さん太タイム
ズ）、(50281):18。（6月7日）

岡山県の島でツメレンゲ（ベンケイソウ科）を記
録。しぜんしくらしき、(125):4。（10月1日）

春のミズアオイ自生地。しぜんしくらしき、
(125):6。（10月1日）

かつての島、鶴形山にのぼる。しぜんしくらしき、
(125):7。（10月1日）

吉備中山の春の植物。しぜんしくらしき、(125):7。
(10月1日)

種松山西部の自然。しぜんしくらしき、(125):9。
(10月1日)

共著：狩山俊悟・鐵慎太郎、三平山（真庭市蒜山上
徳山）の温帯性植物。しぜんしくらしき、(125):9。
(10月1日)

秋の七草、絶滅心配される種類も。自然のおはな
し、185、山陽新聞（さん太タイムズ）、(50396):
16。（10月4日）

ドイツ自然観察記5 「石こうの丘の洞窟と植物
」。しぜんしくらしき、(126):6-7。（2月1日）

スギ 身近な「生きている」化石。自然のおはな
し、189、山陽新聞（さん太タイムズ）、(50518):
16。（2月7日）

ウ 奥島雄一：昆虫担当（45件）

共著：原田愛・奥島雄一、脊椎動物グループ情報：
脊椎動物グループの活動。倉敷市立自然史博物館友の
会ニュース、(376):2。（4月8日）

昆虫グループ活動報告。倉敷市立自然史博物館友の
会ニュース、(376):3。（4月8日）

博物館講座「昆虫折り紙教室」報告。倉敷市立自然
史博物館友の会ニュース、(376):8。（4月8日）

キバネツノトンボ。自然のおはなし、179、山陽新
聞（さん太タイムズ）、(50224):6。（4月9日）

共著：原田愛・奥島雄一、脊椎動物グループ情報：
脊椎動物グループの活動。倉敷市立自然史博物館友の
会ニュース、(377):8。（5月13日）

昆虫グループ活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(377): 10. (5月13日)

ミニ水族館の新顔. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(377): 14. (5月13日)

混棲するコアオハナムグリとアオヒメハナムグリ. しぜんしくらしき、(124): 1. (6月1日)

共著: 原田愛・奥島雄一、脊椎動物グループ情報: 脊椎動物グループの活動. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(378): 5. (6月10日)

昆虫グループ活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(378): 6. (6月10日)

ミニ水族館の新顔. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(378): 7. (6月10日)

倉敷市立自然史博物館の催しもの案内. KURAKON、(101): 569-570. (6月29日)

羽化したてのクマゼミ. 自然のおはなし、182、山陽新聞 (さん太タイムズ)、(50308): 20. (7月5日)

共著: 原田愛・奥島雄一、脊椎動物グループ情報: 脊椎動物グループの活動. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(379): 3. (7月8日)

ミニ水族館の新顔. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(379): 5. (7月8日)

昆虫グループ活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(379): 5. (7月8日)

共著: 原田愛・奥島雄一、脊椎動物グループ情報: 脊椎動物グループの活動. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(380): 3. (8月12日)

昆虫グループ活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(380): 5. (8月12日)

ミニ水族館の新顔. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(380): 9. (8月12日)

共著: 原田愛・奥島雄一、脊椎動物グループ情報: 脊椎動物グループの活動. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(381): 2. (9月9日)

昆虫グループ活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(381): (9月9日)

100年後に後悔しないための、とりあえずもらう努力. 日本昆虫学会第83回大会プログラム・講演要旨集、p. 90. 日本昆虫学会 (web). (9月)

基調講演: 自然史資料をめぐるあげる側ともらう側の事情. 企画展「北海道のオサムシ〜松本堅一コレクション展〜」開催記念シンポジウム「標本は未来へのおくりもの〜百年後に残す博物館の取り組み〜」. 釧路市立博物館館報、(432): 7-8. (9月30日)

吉備真備公園の昆虫. しぜんしくらしき、(125): 10. (10月1日)

共著: 原田愛・奥島雄一、脊椎動物グループ情報: 脊椎動物グループの活動. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(382): 4. (10月14日)

昆虫グループ活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(382): 7. (10月14日)

ミニ水族館の水生昆虫募集. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(382): 14. (10月14日)

キバネツノトンボ (表紙写真). 倉敷の自然、(115): 1. (10月31日)

オオセンチコガネ. 自然のおはなし、186、山陽新聞 (さん太タイムズ)、(50423): 18. (11月1日)

共著: 原田愛・奥島雄一、脊椎動物グループ情報: 脊椎動物グループの活動. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(383): 2. (11月11日)

昆虫グループ活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(383): 4. (11月11日)

共著: 大山望実・奥島雄一、脊椎動物グループ情報: 脊椎動物グループの活動. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(384): 3. (12月9日)

昆虫グループ活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(384): 4. (12月9日)

ミニ水族館の新顔. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(384): 8. (12月9日)

岡山県におけるセスジジョウカイ種群2種の記録. さやばねニューシリーズ、つくば、(52): 54-55. (12月31日)

昆虫グループ活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(385): 7-8. (1月13日)

ミニ水族館の新顔. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(385): 8. (1月13日)

共著: 國本尚憲・奥島雄一、向山公園の昆虫. しぜんしくらしき、(126): 9. (2月1日)

共著: 山川遼・奥島雄一、岡山県におけるサツマヒメカマキリの追加記録と訂正. しぜんしくらしき、(126): 14-15. (2月1日)

会報「しぜんしくらしき」のバックナンバーを無料譲渡します. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(386): 2. (2月10日)

昆虫グループ活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(386): 4. (2月10日)

昆虫グループ活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(387): 6. (3月9日)

会員のためのプレミアムツアー「動物ラボとクジラのひみつ」. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(387): 9. (3月9日)

会報「しぜんしくらしき」のバックナンバーを無料譲渡します. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(387): 9. (3月9日)

共著: 加藤学・小橋理絵子・杉山和美・青野孝昭・奥島雄一、岡山県におけるタイワンタケクマバチの分布と生態情報について. すずむし、倉敷、(159): 3-6. (3月31日)

エ 江田伸司: 動物担当 (8件)

博物館の資料 市民からの寄贈が大半. 自然のおはなし、183、山陽新聞 (さん太タイムズ)、(49960): 7. (8月2日)

- 鬼の手形岩周辺の夏鳥. しぜんしくらしき、
(125):8. (10月1日)
チョウゲンボウのペアを倉敷市加須山で確認. しぜんしくらしき、(125):15. (10月1日)
キクイタダキ 頭頂部に鮮やかな菊の花. 自然のおはなし、187、山陽新聞(さん太タイムズ)、
(50457):18. (12月6日)
チョウゲンボウのペアを倉敷市加須山で確認. しぜんしくらしき、(125):15. (10月1日)
共著:野村未偉可・江田伸司・野嶋宏一、岡山県におけるキシノウエトタゲモの追加記録. しぜんしくらしき、(125):4-5. (2月1日)
倉敷の市街地でセグロセキレイを確認. しぜんしくらしき、(125):5. (2月1日)
梅に鶯 美しい奇跡の瞬間. 自然のおはなし、190、山陽新聞(さん太タイムズ)、(505424):18. (2月14日)

- (5) 発表・講演
ア 奥島雄一:昆虫担当(3件)
自然史資料をめぐる、あげる側ともらう側の事情. シンポジウム「標本は未来へのおくりもの〜百年後に残す博物館の取り組み〜」、釧路市立博物館、(4月23日)
100年後に後悔しないための、とりあえずもらう努力. 日本昆虫学会第83回大会、昆虫担当学芸員協議会、佐賀大学、(9月16日)
コレクションを博物館へ寄贈する予定の方へ、倉敷昆虫同好会例会、倉敷市立自然史博物館、(12月16日)

4 査読

- (1) 奥島雄一:昆虫担当(3件)
7月22日 Zootaxa、New Zealand.
9月29日 Elytra、Japan.
11月23日 Insect Systematics & Evolution

Ⅲ 展示事業

1 常設展

[エントランスホール]

動くナウマンゾウの母子、倉敷の化石動物。

[第1展示室:岡山県のなりたち] 展示数約270点

地球と生物の歴史、岡山県の地史、岡山県の地形、ナウマンゾウ骨格模型、倉敷市の地質と岩石、岡山県のスカルン、岡山県の岩石と鉱物、倉敷周辺の平野のなりたち。

[第2展示室:岡山県のいきもの] 展示数約1,000点

岡山県の地形・地質と気候、岡山県の自然といきもの、阿哲の石灰岩台地、自然は変わる、ビデオコーナー。

[第3展示室:昆虫の世界] 展示数約9,200点

体のしくみ、昆虫の歴史と分類、色と形のふしぎ、世界の昆虫、昆虫の生活、当館の昆虫コレクション、話題の虫。

[第4展示室:植物の世界] 展示数約1,000点

生物の五界説、植物のかたち、植物のなかま、植物の分布、岡山県の植物、倉敷市の植物、くらしの中の植物、自由展示。

2 特別展

(1) 実施概要

標題:第32回特別展「倉敷市立自然史博物館秘蔵お宝展」

会期:令和5年7月15日(土)~10月9日(月・祝)

会場:特別展示室

主催:倉敷市立自然史博物館

協力:倉敷市立自然史博物館友の会

観覧料:通常観覧料

チラシ:60,000枚 高梁川流域の児童・幼児に配布

備考:高梁川流域連携中枢都市圏事業

(2) 展示内容

当館は令和5年11月3日で開館40周年を迎えた。これを記念して、100万点を超える収蔵品の中から、絶滅種や新種、希少な突然変異個体、歴史的な資料、有名人ゆかりの標本など選りすぐりの逸品約600点を特別に展示した。



(3) 関連イベント

「むしむしサロン」(第1部:7月17日~8月11日、第2部:8月15日~9月8日)、出品者15名、計89ケース

「お宝解説」:7月15日(植物)、16日(昆虫)、17日(地学)、20日(地学)、21日(動物)、22日(動物)、23日(地学)、25日(昆虫)、26日(植物)、27日(地学)、28日(動物)、30日(植物)、8月3日(地学)、4日(動物)、5日(地学)、6日(動物)、8日(植物)、9日(昆虫)、10日(動物)、12日(植物)、15日(地学)、16日(植物)、17日(昆虫)、18日(動物)、19日(動物)、20日(地学)、22日(動物)、25日(地学)、27日(植物)、29日(動物)、30日(植物)、31日(昆虫)、9月2日(動物)、3日(動物)、9日(昆虫)、16日(地学)、17日(地学)、18日(地学)、24日(植物)、30日(地学)、10月1日(動物)、7日(昆虫)、8日(植物)、9日(地学)

「収蔵庫探検」:7月19日(昆虫)、29日(昆虫)、8月1日(植物)、2日(昆虫)、11日(昆虫)、23日(植物)、24日(昆虫)、26日(昆虫)、9月23日(昆虫)

「秘蔵のお宝プラ板キーホルダー作り」(友の会):7月17日、8月11日、15日、27日

「チョウの鱗粉転写でしおり作り」(友の会):8月13日

(4) 実績

会期中の観覧者数 12,396人

3 特別陳列

(1) 「新着資料展」4月29日~6月25日、特別展示室、浅野コレクション(昆虫)、アフリカゾウ牙、ナガスクジラヒゲ板など新たに収蔵した資料を展示。

(2) 「畠田和一貝類コレクション展8 畠田和一が採集していた岡山県の絶滅危惧種4」4月8日~9月24日、2階事務室前。

(3) 「畠田和一貝類コレクション展9 畠田和一が採集していた岡山県の絶滅危惧種5」10月14日~3月24日、2階事務室前。

(4) 「第31回しぜんしくらしき賞作品展」10月21日~12月6日、特別展示室、共催:倉敷市立自然史博物館友の会、出品点数24点。

(5) 「みんなの動物ラボ・脊椎動物グループ発足11周年『テン+one展』」1月23日~4月6日、特別展示室、共催:倉敷市立自然史博物館友の会。

4 貸出し標本大展示会

12月15日~1月16日 「まちかど博物館」および「学習用貸出標本」(地学・昆中)を展示、紹介した。

5 ミニ水族館の展示(敬称略)

(1) 国指定天然記念物アユモドキほか淡水魚の飼育展示
管理委託:倉敷芸術科学大学生命科学部生命科学科
山野研究室

協力:岡山市教育委員会

メンテナンス56日

(2) 動植物の提供など

[植物水槽]

7月29日 イバラモ 守安 敦

7月29日 エビモ、ホソバミズヒキモ、セキショウモ 館員

[昆虫水槽]

4月21日 ゲンゴロウ 林 千寿

4月30日 トンボ科幼虫、イトトンボ科幼虫、タニシ類 館員

5月7日 トンボ科幼虫、オニヤンマ幼虫 館員

5月28日 シオカラトンボ幼虫、イトトンボ科幼虫 竹吉栄太

6月9日 カワゲラ科幼虫 館員

6月14日 イトトンボ科幼虫、小魚、エビ類、カワニナ類、タニシ類、二枚貝類 福森太史・秋鳳

6月28日 スマエビほか 河手ゆうま

7月15日 ガムシ、オオコオイムシ、クロゲンゴロウ、コシマゲンゴロウ、ヒメゲンゴロウ、ヒメガムシ 小早川雅晴

8月8日 コオイムシ 安田旬汰

11月3日 コオイムシ 小林和人

11月14日 クロゲンゴロウ、コシマゲンゴロウ、マメゲンゴロウ、ハイイロゲンゴロウ、ガムシ、ヒメガムシ、マツモムシ、オオコオイムシ、ミズカマキリ、ヒメミズカマキリ、オニヤンマ幼虫、ヤンマ科幼虫、ドジョウ 守安 敦

6 常設展示の更新

(1) 第3展示室

「当館の昆虫コレクション」随時更新。

「話題の虫」:アオヘリアオゴミムシ、オオムラサキ、ヒラタクワガタの雌雄型、キバネツノトンボ、オレンジ色のクマゼミ、クマゼミ、ヒメチャマダラセセリ、オオセンチコガネ、コブスジキンイロオサムシ。

(2) 第4展示室「植物の自由展示」

2月25日~7月14日 「牧野博士が採集した竹笹類標本」。

7月15日~11月9日 「牧野富太郎博士採集の植物標本」。

11月10日~12月15日 「昔の学校課題で作られた植物標本」。

12月16日～3月8日 「干支（辰）にちなんだ植物」.

3月9日～ 「どんぐり・ごろん・ごろん」.

7 生きた動植物の展示

9月29日～10月10日 「ステゴビル ～牧野博士が新種として発表～」 館員

8 恐竜のぬり絵

ティラノサウルス、トリケラトプス、プテラノドン.

9 まちかど博物館（高梁川流域連携中枢都市圏事業）

当館が所蔵する岩石、鉱物、化石、植物、昆虫、動物などの本物の標本を、移動可能な展示セット計60台に仕立てて、公共性の高い施設、または市民や観光客らが集う施設を対象として貸し出ししている。

令和5年度新規貸出実績：延べ22施設、46台（継続含まず、更新含む）。設置先（複数回は単一化）：倉敷市立玉島図書館、倉敷市立児島図書館、倉敷市立中央図書館、

ライフパーク倉敷図書室、倉敷市立船穂図書館、倉敷市立水島図書館、教育企画総務課、倉敷市立倉敷西小学校、倉敷市立下津井西小学校、倉敷市立二万幼稚園、倉敷児童館、児島児童館、くらしき作陽大学附属認定こども園、たから保育園、中洲保育園、第一福田保育園、まきびの里保育園、倉敷駅西ビル、倉敷昆虫館、翔洋会藤田荘。

10 他館展示協力

4月1日～3月31日 倉敷埋蔵文化財センター、常設展（哺乳類化石を貸出）.

4月1日～3月31日 岡山県自然保護センター、常設展（哺乳類化石を貸出）.

4月1日～3月31日 岡山県立博物館、常設展（哺乳類化石を貸出）.

7月22日～8月6日 岡山市半田山植物園、「夏季企画展 3つの視点から見る食虫植物展」（植物標本を貸出）.

12月2日～17日 岡山県自然保護センター、「芸術の秋 ネイチャーアート展」（「くじらのこえ うみのこえ」紙芝居パネルを貸出）.

IV 教育普及事業

※行事総参加者数 2,971 (1,270) 人（カッコ内は中学生以下の参加人数＝倉敷市第七次総合計画指標「自然にふれたり、学んだりする活動に参加している子どもの数」）（ただし、ゴールデンウィークスペシャル、自然史博物館まつり、ナイトミュージアム、レファレンス、博物館実習生等は含まない）

1 自然観察会（計18回 参加者合計944(380)人）

4月16日 第387回自然観察会「春の身近な植物観察」倉敷市本町・鶴形山、29(7)人.

5月7日 第388回自然観察会「おかやま自然探訪（旧金光町）」浅口市金光町、33(7)人.

5月13日 第389回自然観察会「倉敷みらい公園で生き物さがし2023年5月」倉敷市寿町、88(43)人.

5月21日 第390回自然観察会「高梁川流域自然たんけん（倉敷市）」倉敷市福田町・種松山、70(25)人.

6月18日 第392回自然観察会「高梁川流域自然たんけん（矢掛町）」矢掛町、131(62)人.

6月24日 第393回自然観察会「ブッポウソウを観察しよう（鳥取）」鳥取県南部町、16(2)人.

7月8日 第394回自然観察会「ブッポウソウを観察しよう（岡山）」吉備中央町、17(2)人.

7月30日 第395回自然観察会「夏だ！昆虫採集」倉敷市向山周辺、126(63)人.

8月12日 第396回自然観察会「倉敷みらい公園でセミの抜けがら調べ」倉敷市寿町、41(16)人.

8月26日 第397回自然観察会「倉敷みらい公園で生き物さがし2023年8月」倉敷市寿町、67(33)人.

9月10日 第398回自然観察会「ミズアオイ観察とネイチャーゲーム」倉敷市加須山、48(15)人.

10月15日 第399回自然観察会「秋の身近な植物観察」倉敷市本町・鶴形山、26(9)人.

10月21日 第400回自然観察会「楽しい魚採り」倉敷市酒津、29(12)人.

11月18日 第401回自然観察会「倉敷みらい公園で生き物さがし2023年11月」倉敷市寿町、73(39)人.

12月17日 第402回自然観察会「おかやま自然探訪（旧牛窓町）」瀬戸内市牛窓町、31(11)人.

12月24日 第403回自然観察会「鷲羽山の地学ハイキング」倉敷市下津井・鷲羽山、23(1)人.

3月2日 第404回自然観察会「倉敷みらい公園で生き物さがし2024年3月」倉敷市寿町、45(18)人.

3月31日 第405回自然観察会「ミズアオイの種まきとネイチャーゲーム」倉敷市加須山、51(15)人.

2 博物館講座（計7回 参加者合計175(72)人）

6月25日 「植物標本の作り方①採集編」、26(12)人.

7月15日 「昆虫標本の作り方」、67(38)人.

7月16日 「植物標本の作り方②標本づくり編」、40(19)人.

1月21日 「学芸員研究紹介ー地学ー：金銀銅の自然界からの産出と人とのかかわりについて」、11(0)人。

2月24日 「学芸員研究紹介ー植物ー：今年度の植物調査で分かったこと」、23(3)人。

3月9日 「学芸員研究紹介ー動物ー：ブッポウソウのお話」、8(0)人。

3月20日 「むしむし探検隊公開発表会」、後記「むしむし探検隊」に記載。



植物標本の作り方②標本づくり編

3 特別展・特別企画展・特別陳列関連イベント

むしむしサロン（期間：第1部 7月17日～8月11日、第2部 8月15日～9月8日）（特別展観覧者に含む）

お宝解説（特別展観覧者に含む）

収蔵庫探検（資料収集事業：博物館のお宝探検に含む）

4 自然の標本なんでも相談会

8月13日 117(68)人。

5 地学教室

1月28日 「岩石のスタンドグラス作り」、28(13)人。

6 むしむし探検隊 参加者延べ189(81)人。

隊長：奥島雄一（館員）、サポートスタッフ：岡野貴司、秦英夫、藤本徹哉、中野一成、磯野裕昭、加藤学、末長晴輝、斉藤陽一、武田寛生、武田雅生、安達由莉、國本尚憲、平田匠、芳原翠子、隊員（小5～高1）17人。

4月9日 入隊説明会&オリエンテーション 34(16)人。

5月3、6日 ゴールデンウィークスペシャル 6(5)人。

6月4日 第1回探検 新見市牛丸大仙 18(10)人。

7月17日～8月11日 「むしむしサロン第1部」出品 6(3)人。

8月15日～9月8日 「むしむしサロン第2部」出品 6(3)人。

9月10日 第2回探検 笠岡市小飛鳥、17(4)人。

11月3～5日 自然史博物館まつり 28(17)人。

3月20日 公開研究発表会 66(18)人。

3月23日 ナイトミュージアム 8(5)人。

7 自然素材を使った手作り教室（計12回、延べ366(173)人）

4月9日、5月3日、6月11日、7月9日、8月20日、9月10日、10月8日、11月4日、12月10日、1月14日、2月11日、3月10日（原則毎月第2日曜日開催）。

8 ゴールデンウィークスペシャル（中学生以下の人数含めない）

(1) 開催日：4月29日（土・祝）、30日（日）、5月3日（水・祝）、4日（木・祝）、5日（金・祝）、6日（土）

(2) 開催イベント

ア 4月29日

鶴形山バードウォッチング、クジラスタンプでハンカチ作り、クジラのホネだっこ記念撮影会

イ 4月30日

鳥獣戯画スタンプで手ぬぐい作り、古代エジプトレリーフで絵はがき作り

ウ 5月3日

自然素材を使った手作り教室、むしむしフリートーク

エ 5月4日

木の化石探し、鶴形山で植物観察

オ 5月5日

クジラのホネだっこ記念撮影会、オリジナル缶バッジ作り

カ 5月6日

むしむしフリートーク

(3) 来場者数：1,140人

9 第23回 自然史博物館まつり（開館40周年記念スペシャル）（中学生以下の人数含めない）

(1) 開催日：11月3日（金・祝）、4日（土）、5日（日）

(2) 開催イベント

ア 11月3日

いもむしランドで昆虫と遊ぼう！、チョウの鱗粉（りんぷん）転写でしおりを作ろう！、オリジナル缶バッジを作ろう！、鳥獣戯画スタンプで絵はがきを作ろう！、倉敷昆虫館のお宝展、海ゴミ・地球温暖化のことを知ろう！、岡山大学「倉敷でみられる水生動物」

イ 11月4日

自然素材を使った手作り教室、鳥の羽でしおり作り & 鳥の羽のお話、化石さがし

ウ 11月5日

岡山大学ギターマンドリンクラブ演奏会、自然史博物館秘蔵お宝クイズ大会

エ 11月3日～5日

モンゴル恐竜化石発掘パネル展、蒜山の草原において！山焼き草原のパネル展示、ミュージアムショップ&バザー

オ 11月4日～5日

倉敷芸術科学大学「くらしきの魚たち」

(3) 来場者数：2,096人

10 ナイトミュージアム2024 in 自然史博物館（中学生以下の人数を含めない）

(1) 開催日時：3月23日（土）17時半～20時

(2) 開催イベント

夜の博物館探検&クイズ、岡山大学ギターマンドリンクラブ演奏、しぜんの小ばなし、むしむし探検隊とフリートーク、ほねだっこ&撮影会、缶バッジづくり

(3) 来場者数：794人

11 開館40周年記念スタンプラリー・クイズラリー

※高梁川流域連携中枢都市圏事業

(1) 岡山県自然科学ミュージアム 謎解きクイズラリー

本年度に周年記念日を迎える岡山県内の7施設を巡り各施設のクイズに答えて現れる最終問題の答えを記入して応募すると、抽選で7施設の賞品の詰め合わせが当たる。

開催日：4月29日（土）～12月31日（日）※当館は12月27日まで

参加施設：池田動物園、倉敷市立自然史博物館、渋川動物公園、高梁市成羽美術館、つやま自然のふしぎ館（津山科学教育博物館）、なぎビカリヤミュージアム、柵原鉱山資料館

(2) おかやまけん しぜんかがくスタンプラリー

岡山県内の自然科学系の18施設を巡り、スタンプを集めると、スタンプ3つごとに景品を進呈する。

開催日：4月29日（土）～12月31日（日）※当館は12月27日まで

参加施設：池田動物園、岡山県自然保護センター、岡山県立森林公園、岡山市環境学習センター「めだかの学校」、岡山理科大学恐竜学博物館、笠岡市立カブトガニ博物館、環境学習プラザ「アスエコ」、倉敷昆虫館、倉敷市立自然史博物館、渋川動物公園、渋川マリン水族館（玉野海洋博物館）、高梁市成羽美術館、津黒いきものふれあいの里、つやま自然のふしぎ館（津山科学教育博物館）、なぎビカリヤミュージアム、はんだぎセンター、操山公園里山センター、柵原鉱山資料館

12 出版物

[パオちゃん' s EYE]

No. 73 「ブッポウソウを観察しに行こう」江田伸司（4月1日）

No. 74 「オレンジ色のクマゼミ」奥島雄一（5月1日）

No. 75 「タニウツギ（谷空木）」鐵慎太郎（6月1日）

No. 76 「新見市哲多町の荒戸山のかんらん石」武智泰史（7月1日）

No. 77 「当館秘蔵のお宝を見に来てね」江田伸司（8月1日）

No. 78 「ヒメチャマダラセセリ」奥島雄一（9月1日）

No. 79 「ヒゴタイ」鐵慎太郎（10月1日）

No. 80 「コランダム」武智泰史（11月1日）

No. 81 「今年度の自然史博物館まつり」江田伸司（12月1日）

No. 82 「コブスジキンイロオサムシ」奥島雄一（1月1日）

No. 83 「ハナナズナ（花薺）」鐵慎太郎（2月1日）

No. 84 「地質調査」武智泰史（3月1日）

13 レファレンス

質問、同定依頼、研究協力、原稿校閲、マスコミ取材等への対応。

地学137件、植物186件、昆虫358件、動物178件、その他31件（計890件）。

14 博物館実習生等の受け入れ（人数含めない）

(1) 博物館実習

人数：4人

飯澤彩羽（山口大学）、今井桜花（岡山大学）、北之上静香（山陽学園大学）、（50音順）

（期間：令和4年8月8日～13日）

八木悠介（福山大学）。

（期間：令和5年1月16日～20日）

(2) 博物館見学実習（当館職員が対応したもの）

5月14日 岡山理科大学 38人

11月18日 岡山大学文学部 20人

12月2日 岡山理科大学 15人

(3) インターンシップ

2人

昆虫分野：7月29日～8月4日 高橋このか（岡山理科大学）。

昆虫分野：8月23日～27日 國本尚憲（くらしき作陽大学）。

(4) 小中高校生の実習 計13人

（職場体験）

5月16日～5月18日 倉敷市立多津美中学校1人。

8月29日～8月31日 倉敷市立南中学校2人。

9月12日～9月14日 倉敷市立新田中学校2人。

10月18日～10月20日 倉敷市立連島南中学校2人。

11月7日～11月9日 倉敷市立倉敷第一中学校 2人。
 11月14日～11月16日 倉敷市立西中学校 2人。
 2月6日～2月8日 倉敷天城中学校 2人。

15 講師派遣（「出前講座」含む） 計25回、参加者合計
 867(437)人（重複除く）

- (1) 鐵慎太郎：植物担当（11回、297(75)人）
 6月27日 「身近な野生植物の観察やお話」、倉敷地区ウェルカム観光ガイド連絡会、40(0)人。
 7月6日 「身近な野生植物の観察やお話」、倉敷高等学校、32(0)人。
 7月19日 「身近な野生植物の観察やお話」、手話サークル草の会、20(0)人。
 7月25日 「身近な野生植物の観察やお話」、倉敷市玉島市民交流センター、14(7)人。
 8月2日 「身近な野生植物の観察やお話」、倉敷市立連島南幼稚園、4(0)人。
 8月27日 「身近な野生植物の観察やお話」、倉敷昆虫同好会、20(0)人。
 10月21日 「次世代系人材育成プログラム」 岡山大学教師教育開発センター 45(36)人。
 11月12日 「身近な野生植物の観察やお話、自然史博物館について」、倉敷の自然をまもる会、15(0)人。
 11月15日 「身近な野生植物の観察やお話、自然史博物館について」、倉敷市立上成小学校区放課後子ども教室、35(32)人。
 12月6日 「身近な野生植物の観察やお話、自然史博物館について」、倉敷市玉島市民交流センター、14(0)人。
 12月16日 「身近な野生植物の観察やお話、自然史博物館について」、倉敷市立短期大学、58(0)人。

(2) 奥島雄一：昆虫担当（13回、548(362)人、重複除く）

- 4月23日 シンポジウム「標本は未来へのおくりもの～百年後に残す博物館の取り組み～」、演題：「自然史資料をめぐる、あげる側ともらう側の事情」 釧路市立博物館 30(0)人。
 7月21日 「どこでも昆虫採集」 倉敷市船穂公民会 21(12)人。
 7月26日 「どこでも昆虫採集」 せいほっ子児童クラブ 33(30)人。
 7月27日 「どこでも昆虫採集」 倉敷市新田公民会 25(12)人。
 7月28日 「収蔵庫探検」 金光学園わかばプロジェクト 76(70)人。
 8月3日 「倉敷市自然保護監視員研修会」 環境政策課 17(0)人。
 8月16日 「どこでも昆虫採集」 上成キラキラ児童クラブ 72(6)人。

9月1日 「どこでも昆虫採集」 倉敷市立中洲小学校 2年 113(108)人。

9月8日 「どこでも昆虫採集」 倉敷市立二万幼稚園 22(17)人。

9月20日 「どこでも昆虫採集」 倉敷市立上成小学校区放課後子ども教室 32(28)人。

10月17日 「どこでも昆虫採集」 くらしき作陽大学附属認定こども園（5歳児） 43(39)人。

10月21日 「次世代系人材育成プログラム」 岡山大学教師教育開発センター 45(36)人。（重複）

10月26日 「どこでも昆虫採集」 くらしき作陽大学附属認定こども園（4歳児） 44(40)人。

11月18日 「学芸員資格取得のための博物館及び美術館における実習」 岡山大学文学部 20(0)人。

(3) 江田伸司：動物担当（1回、22(0)人）

2月27日 「出前講座：動物の観察と採集」、菌小学校支援地域本部実行委員会 22(0)人。

16 マスコミ報道（館名、氏名公表分のみ）（58件）

(1) 倉敷市立自然史博物館（13件）

- 5月14日発行 朝日新聞、「記者サロン／人魚のミイラ真偽超えた価値／科学的な検証は脇に「楽しむ心が大切」。
 5月19日以降放映 たまテレ、「新着資料展」。
 6月18日発行 山陽新聞、「vol.1地元大学の魅力／倉敷芸術科学大学／体験を通じて学び深める」。
 7月1日発行 みりょ区ほっと通信（市民のひろばおかやま第1447号）、「牧野富太郎博士ゆかりの「ビゼンナリヒラ」」。
 7月13日発行 山陽新聞（都市圏）、「「お宝」希少種標本見て／市立自然史博物館／15日から開館40周年展」。
 7月15日～放映 OHK（YouTube、イオンモール岡山館内）、「haremachiスペシャリスト」、「クワガタ捕り名人磯野裕昭さん」。
 7月20日発行 山陽新聞、「植物や昆虫、化石…／自然科学に関心持って／博物館、森林公園めぐるスタンプラリー／県内7市4町18施設参加」。
 8月18日以降放映 山陽放送テレビ、ニュース、「黒いトノサマバッタ」。
 8月30日発行 山陽新聞（備前）、「出合えたら幸運「ブルービー」／ナミルリモンハナバチ／深山イギリス庭園に飛来」。
 9月20日発行 山陽新聞（都市圏）、「絶滅種や突然変異個体／「お宝」標本、化石見て／自然史博物館40周年」。
 1月5日発行 山陽新聞（都市圏）、「虫や鉱物の標本箱紹介／自然史博物館／貸し出し促進で展示」。
 3月2日発行 山陽新聞（ちまた）、「一日一題／アユモドキとの関わり（山野ひとみ）」。

3月31日放映 倉敷ケーブルテレビ、「KCT news」、「きれいな花咲いて 準絶滅危惧種 ミズアオイの種まき」.

(2) 武智泰史：地学担当（2件）

8月18日放送 エフエムくらしき、週刊くらしきハッピーレディオ（ナウマンの小部屋）「8～9月の催し物」

12月15日放送 エフエムくらしき、週刊くらしきハッピーレディオ（ナウマンの小部屋）「12～1月の催し物」

(3) 鐵慎太郎：植物担当（10件）

5月8日放送 倉敷ケーブルテレビ、「KCTニュース」、「イチヨウの気根」.

5月19日放送 エフエムくらしき、週刊くらしきハッピーレディオ（ナウマンの小部屋）「牧野富太郎博士と岡山の植物」.

9月15日放送 エフエムくらしき、週刊くらしきハッピーレディオ（ナウマンの小部屋）「長野県と九州の草原や湿原で観察した植物」.

10月7日放送 吉備ケーブルテレビ、「ソメイヨシノの狂い咲き」.

11月21日放送 RSK山陽放送、「RSKイブニングニュース」、「「時を経て貴重な標本に」80年以上前の中高生が手がけた植物標本を倉敷市で展示 絶滅危惧種も」.

11月24日公開 毎日新聞（WEB版）、「父の選んだ息子の遺品は植物標本 80年以上前の戦中に生きた証し」.

11月25日発行 山陽新聞、「戦地で散った命 思い伝える標本」.

12月2日発行 毎日新聞、「植物標本 伝わる二人の思い 戦時の父・息子 生きた証し展示」.

1月19日放送 エフエムくらしき、週刊くらしきハッピーレディオ（ナウマンの小部屋）「南アフリカ原産の球根植物」.

3月9日放送 RSK山陽放送、RSKイブニングニュース、「「地獄みたい」用水路が真っ赤に びっしり浮かぶ厄介者の正体は…」.

(4) 奥島雄一：昆虫担当（26件）

4月5日放映 OHKテレビ、「OHKニュース」、「専門家もビックリ！ オスとメスの部分が混在「ヒラタクワガタ」倉敷市の親子が飼育の個体から発見【岡山】」.

4月21日発行 さりお、「オスとメスの部分が混在「ヒラタクワガタ」を発見」.

4月26日発行 釧路新聞、「標本資料保全在り方は／シンポジウムで識者講演／釧路市立博物館／オサムシ展」.

6月16日放送 エフエムくらしき、「ナウマンの小部屋」、「収蔵庫の燻蒸」.

6月中旬発行 山陽新聞リビングガイド、2023 July、p. 05、「地域をおもしろくするキーパーソン／FILE/06／むしむし探検隊長奥島雄一さん」.

6月28日公開 倉敷とことこ、「倉敷市立自然史博物館～1983年の開館から40年。昆虫・植物などの資料を100万点以上収蔵する博物館」

(https://kuratoco.com/museum_of_natural_history/).

6月29日放映 OHKテレビ、「OHKニュース」、「見つけた！ピンクのバツタ／昆虫大好き小学生」.

7月10日発行 子供の科学、86(8)付録生き物観察自由研究BOOK、p.13（全国の科学施設発！おすすめ昆虫）、p.22（自由研究をサポート！全国協力科学施設リスト）.

7月11日放送 エフエムくらしき、「タ方ワイドくらもん」、「倉敷市立自然史博物館秘蔵お宝展」.

7月20日放送 山陽放送テレビ、イブニングニュース、「「突然変異の黒いモンシロチョウも」選りすぐりの昆虫標本など約600点 倉敷市立自然史博物館の「秘蔵お宝展」にびっくり」.

7月21日以降放映 たまテレ、「昆虫採集体験」（船尾公民館講座）.

7月28日放映 OHKテレビ、セミ.

7月28日放映 倉敷ケーブルテレビ、「KCTニュース」、「秘蔵お宝展」.

8月9日放送 山陽放送ラジオ、「あも～れ！マッターラーノ」、「ラジまるレポート」、「倉敷市立自然史博物館秘蔵お宝展」.

8月13日放映 たまテレ、「倉敷市立自然史博物館秘蔵お宝展」.

8月13日放映 倉敷ケーブルテレビ、「KCTニュース」、「倉敷市立自然史博物館 自然の標本なんでも相談会」.

8月22日放映 山陽放送テレビ、「秘蔵お宝展」.

9月19日発行 朝日新聞（岡山）、「収蔵100万点超セレクト／「お宝」180選所狭し／倉敷市立自然史博物館／牧野博士の標本や絶滅種頭骨まで」.

10月12日発行 山陽新聞（備前）、「ピンクのバツタ発見／和気」.

11月3日放映 倉敷ケーブルテレビ、「KCTニュース」、「倉敷市立自然史博物館開館40周年の博物館まつり」.

11月8日放映 倉敷ケーブルテレビ、「KCTニュース」、「倉敷市立自然史博物館開館40周年の博物館まつり」.

11月17日放送 エフエムくらしき、「ナウマンの小部屋」、「倉敷市立自然史博物館の昆虫化石標本」.

12月15日以降放映 たまテレ、「貸出し標本大展示会」.

1月25日放送 山陽放送ラジオ、「あも〜れ! マッターリーノ」、「ラジまるレポート」、「みんなの動物ラボ」.

2月16日放送 エフエムくらしき、「ナウマンの小部屋」、「みんなの動物ラボ/脊椎動物グループの活動」.

2月21日以降放映 たまたテレ、「ナイトミュージアム」.

(5) 江田伸司: 動物担当 (7件)

4月14日発行 日本海新聞(鳥取)、「光り輝く”プリンセス”ー鳥取・久松公園で菊桜見頃.

4月21日放送 エフエムくらしき、週刊くらしきハッピーレディオ(ナウマンの小部屋)「おかやまけんしぜんかがく スタンプラリーと岡山県自然科学ミュージアム謎解きクイズラリーについて」.

5月8日放送 山陽放送ラジオ、あも〜れ! マッターリーノ「おかやまけん しぜんかがく スタンプラリーと岡山県自然科学ミュージアム謎解きクイズラリーについて」.

6月13日放送 FM岡山、ステーションらんでぶ〜「おかやまけん しぜんかがく スタンプラリーと岡山県自然科学ミュージアム謎解きクイズラリーについて」.

7月21日放送 エフエムくらしき、週刊くらしきハッピーレディオ(ナウマンの小部屋)「倉敷市立自然史博物館秘蔵お宝展について」.

10月20日放送 エフエムくらしき、週刊くらしきハッピーレディオ(ナウマンの小部屋)「開館40周年記念スペシャル自然史博物館まつりについて」.

3月15日放送 エフエムくらしき、週刊くらしきハッピーレディオ(ナウマンの小部屋)「沖縄県山原の動物について」.

、植松志帆、植松蒼*、江田伸司*、榎本敬*、大島宏美*、大山望実*、奥島雄一*、小澤佑二、片岡法子*、片岡博行、片山久*、狩山俊悟、川崎嘉子*、木下延子*、木村浩子*、國忠高広*、古谷太一、小橋理絵子*、榎原久美子、坂本明弘*、島岡浩恵*、白神加奈子*、末長晴輝*、裾分由美子*、高嶋幸慶、武田寛生*、武田雅生*、武智泰史*、鐵慎太郎*、中田太海、中村雅江*、野島淑子*、橋本恵子*、橋本響*、橋本真由子*、原田愛*、廣瀬正明、藤野睦子*、松村真佐子*、溝手啓子、森下裕子*、安原信一郎、山崎法子、雪江祥貴*、吉岡勉.

[会計監査] 高橋元、守安敦.

(3) 自然観察会 (*は博物館と共催、カッコ内は中学生以下)

友の会行事のみ参加者数 計240(46)人.

4月16日 *第675回自然観察会「春の身近な植物観察」倉敷市本町・鶴形山

4月23日 第676回自然観察会「春の“吉備の中山”散策」岡山市北区尾上 吉備の中山、79(19)人.

5月7日 *第677回自然観察会「おかやま自然探訪(旧金光町)」浅口市金光町

5月13日 *第678回自然観察会「倉敷みらい公園で生き物さがし2023年5月」倉敷市寿町

5月21日 *第679回自然観察会「高梁川流域自然たんけん(倉敷市)」倉敷市福田町・種松山

5月28日 第680回自然観察会「中国山地の植物観察7〜三平山〜」真庭市蒜山上徳山、24(2)人.

6月3日 第681回自然観察会「スゲ観察会」高梁市備中町布瀬、20(0)人.

6月18日 *第682回自然観察会「高梁川流域自然たんけん(矢掛町)」矢掛町東三成

6月24日 *第683回自然観察会「ブッポウソウを観察しよう(鳥取)」鳥取県南部町

7月1日 第684回自然観察会「第28回シダの世界」総社市下倉、20(2)人.

7月8日 *第685回自然観察会「ブッポウソウを観察しよう(岡山)」吉備中央町

7月30日 *第686回自然観察会「夏だ! 昆虫採集」倉敷市向山周辺

8月12日 *第687回自然観察会「倉敷みらい公園でセミの抜けがら調べ」倉敷市寿町

8月26日 *第688回自然観察会「倉敷みらい公園で生き物さがし2023年8月」倉敷市寿町

9月10日 *第689回自然観察会「ミズアオイ観察とネイチャーゲーム」倉敷市加須山

10月7日 第690回自然観察会「津黒のきのご観察会」真庭市蒜山下和、17(7)人.

10月15日 *第691回自然観察会「秋の身近な植物観察」倉敷市本町・鶴形山

10月21日 *第692回自然観察会「楽しい魚採り」倉敷市酒津

17 学習用貸出標本の利用

地学標本(岩石)	2件
地学標本(隕石)	1件
地学標本(鉱物)	3件
地学標本(化石)	2件
昆虫標本	1件

18 倉敷市立自然史博物館友の会の活動

(1) 会員計 793人(406組)(※令和6年3月31日現在) 個人244人、家族543人(156組)、賛助6組

(2) 役員(*は幹事兼務)

[会長] 吉岡勉.

[副会長] 榎原久美子、溝手啓子、山崎法子、片岡博行、古谷太一、中田太海、安原信一郎、狩山俊悟、高嶋幸慶.

[評議員] 青野孝昭、安達由莉*、泉川拓子*、磯野裕昭*、磯野倫広*、伊藤邦夫、稲神邦代*、入江和喜

- 11月18日 *第693回自然観察会「倉敷みらい公園で生き物さがし2023年11月」倉敷市寿町
- 12月2, 3日 特別企画「マガンのモーニングフライトとイブニングフライトを見よう」島根県出雲市ほか、15(1)人.
- 12月17日 *第694回自然観察会「おかやま自然探訪(旧牛窓町)」瀬戸内市牛窓町
- 12月24日 *第695回自然観察会「鷺羽山の地学ハイキング」倉敷市下津井・鷺羽山
- 1月21日 第696回自然観察会「六島の自然」笠岡市六島、18(6)人.
- 2月4日 第697回自然観察会「コケ観察会」倉敷市真備町箭田、27(7)人.
- 3月2日 *第698回自然観察会「倉敷みらい公園で生き物さがし2024年3月」倉敷市寿町
- 3月10日 第699回自然観察会「倉敷市の鳥カワセミをさがそう!」倉敷市玉島 溜川、20(2)人.
- 3月31日 *第700回自然観察会「ミズアオイの種まきとネイチャーゲーム」倉敷市加須山
- (4) 展示 (博物館と共催)
- 10月21日~12月6日 特別陳列「第31回しぜんしくらしき賞作品展」
- 1月23日~4月6日 特別陳列「みんなの動物ラボ・脊椎動物グループ発足11周年「テン+one展」
- (5) 博物館講座 (博物館と共催)
- 6月25日、7月16日 「植物の採集方法と標本の作り方」
- 7月15日 「昆虫標本の作り方」
- 2月24日 「学芸員研究紹介-植物-:今年度の植物調査で分かったこと」
- 3月9日 「学芸員研究紹介-動物-:ブッポウソウのお話」
- 3月20日 「むしむし探検隊公開発表会」
- (6) スライド映写会 (計2回、延べ45(0)人)
- 6月10日 スライド会「旅先の自然と植物たち3~奄美群島~」23名(0)人.
- 12月9日 スライド会「旅先の自然と植物たち4~上高地・乗鞍岳~」22名(0)人.
- (7) 自然素材を使った手作り教室 (博物館と共催)
- 原則毎月第2日曜日開催
- (8) グループ活動
- 溜川ウォッチンググループ:毎週金曜日(共催:第3金曜日のみ倉敷市環境学習センター) 延べ334人
- ご近所バードウォッチンググループ:毎月1回 延べ76人
- 倉敷みらい公園バードウォッチング:毎月1回(共催:
- 倉敷市環境学習センター) 延べ125人
- シダグループ:毎月1回 延べ141人
- 岡山県植物誌研究会:随時 登録者37人
- 脊椎動物グループ:随時 延べ269人
- 昆虫グループ(標本整理):随時 延べ149人
- (9) 第31回「しぜんしくらしき賞」(博物館と共催)
- 応募総数:24点
- 作品展会期:10月21日~12月6日
- (10) 2024年度会員証デザインコンテスト
- 応募総数:25点(応募人数:12人)
- 採用:「ナイスキャッチ!カワセミ君」(吉岡勉)
- (11) ゴールデンウィークスペシャル(博物館と共催)
- 4月29日、30日、5月3日、4日、5日、6日
- (12) 第23回 自然史博物館まつり(博物館と共催)
- 11月3日、4日、5日
- (13) ナイトミュージアム(博物館と共催)
- 3月23日17時30分~20時
- (14) 会報「しぜんしくらしき」発行
- 6月1日 124号、10月1日 125号、2月1日 126号.
- (15) 連絡誌「倉敷市立自然史博物館友の会ニュース」の発行
- 4月8日 376号、5月13日 377号、6月10日 378号、7月8日 379号、8月12日 380号、9月9日 381号、10月14日 382号、11月11日 383号、12月9日 384号、1月13日 385号、2月10日 386号、3月9日 387号.
- (16) 総会の開催
- 4月23日
- (17) 幹事会の開催
- 4月8日、5月13日、6月10日、7月8日、8月12日、9月9日、10月14日、11月11日、12月9日、1月13日、2月10日、3月9日.
- (18) 収益事業
- 図書、自然観察用品、昆虫器具等のあっせん、バザー.
- (19) その他
- ホームページ、メールマガジン、Facebook、Instagram、Xの管理・運営

V 庶務

1 沿革

昭和53年8月18日 倉敷市庁舎等跡地利用協議会（13名）設置

昭和55年3月13日 倉敷市庁舎等跡地利用協議会より、倉敷市庁舎等は「新しい文化施設を創設する気構えで、積極的に取り組む必要がある」との答申が出される

昭和56年2月3日 倉敷市議会旧倉敷市庁舎跡地利用並びに周辺開発特別委員会（13名）設置

昭和57年3月2日 旧水道局庁舎を自然史博物館として改造することが、倉敷市議会旧倉敷市庁舎跡地利用並びに周辺開発特別委員会で確定

昭和57年10月1日 自然史博物館基本構想並びに展示基本構想の策定を学識経験者（4名）に委託

昭和57年10月19日 自然史博物館基本構想確定

昭和57年11月27日 自然史博物館展示構想確定

昭和58年11月3日 倉敷市立自然史博物館開館

平成4年1月26日 倉敷市立自然史博物館友の会発足

平成6年3月27日 開館10周年記念建物1階増設並びに改装工事完成

平成9年2月4日 博物館法第12条の規定による登録博物館

平成15年3月21日 第2展示室展示更新完成

平成16年3月20日 第3展示室展示更新完成

平成17年3月20日 第4展示室展示更新完成

平成18年3月21日 第1展示室展示更新完成

平成22年4月1日 倉敷消防署大高出張所跡地を倉敷市歴史資料整備室から移管し、倉敷市立自然史博物館大高仮収蔵庫として使用開始

令和5年11月14日 博物館法第11条の規定による登録博物館（博物館法改正による再登録）

液浸標本収蔵庫	18.69
図書文献室	47.30
大高仮収蔵庫（敷地面積708.10）	190.80
仮収蔵スペース（市内小学校教室2部屋、市内中学校教室2部屋）	

(4) 教育普及（157.98）

学習コーナー	47.71
ミニ水族館	14.37
講義室	95.90

(5) 庶務（182.11）

連絡室	35.88
事務室	57.59
会議室	55.45
倉庫	33.19

(6) 機械設備（281.59）

機械室（地階）	180.86
機械室（収蔵庫用空調設備）	19.86
機械室（屋階）	53.66
ボイラー室	20.25
エレベーター機械室	6.96

(7) その他（998.81）

車庫	206.92
便所、廊下等	791.89

2 各室現有面積（単位：㎡）現有面積合計 3,263.08

(1) 展示室（969.48）

エントランスホール	118.16
常設展示室（第1展示室）	200.09
常設展示室（第2展示室）	256.83
常設展示室（第3展示室）	169.28
常設展示室（第4展示室）	155.16
特別展示室	69.96

(2) 調査研究（184.24）

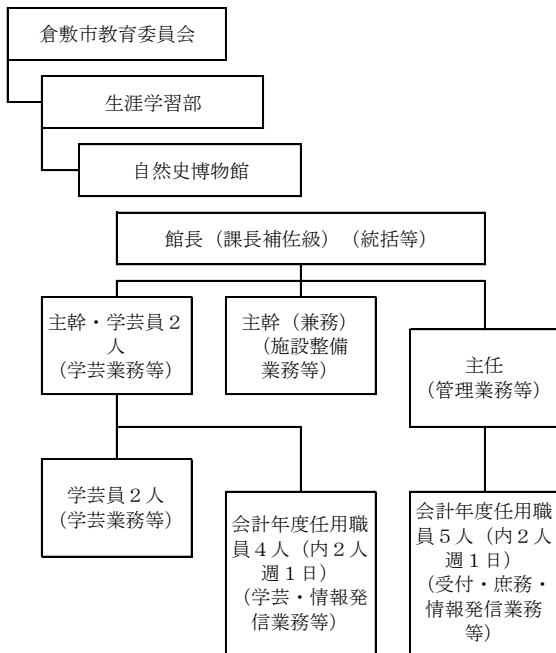
研究室	115.48
工作室	45.56
写真室	11.85
暗室	11.35

(3) 収蔵庫（488.87）

第1収蔵庫（動物、植物）	169.83
第2収蔵庫（地学）	62.25

3 組織

(1) 組織図



(2) 職員 (令和6年3月31日現在)

- 館長 杉本紀明
- 主幹・学芸員 奥島雄一 (昆虫分野)
- 主幹・三谷潤二郎 (兼務)
- 主幹・学芸員 武智泰史 (地学分野)
- 主任 萩原知博
- 学芸員 江田伸司 (動物分野)
- 学芸員 鐵慎太郎 (植物分野)
- 会計年度任用職員 赤星浩
- 会計年度任用職員 泉川菟子
- 会計年度任用職員 三上美姫
- 会計年度任用職員 池田愛奈
- 会計年度任用職員 三島あゆみ (受付、土日祝)
- 会計年度任用職員 江口真由美 (受付、土日祝)
- 会計年度任用職員 岡杏花 (学芸補助、土日)
- 会計年度任用職員 池田智美 (学芸補助、土日)

(3) 倉敷市立自然史博物館協議会委員 (令和6年3月31日現在)

[任期: 令和5年12月1日～令和7年11月30日]

- 赤崎哲也 倉敷市立下津井中学校長
- 碓 京子 高梁市成羽美術館学芸員
- 石垣 忍 岡山理科大学研究・社会連携機構 古生物学年代学研究センター特担教授
- 尾崎勝也 市民文教委員会副委員長
- 片岡博行 医療法人創和会 重井薬用植物園長
- 末宗安之 岡山県野生動植物調査検討会委員
- 西山圭子 「親育ち応援学習プログラム」ファシリテーター
- 宮原勝志 倉敷市立児島小学校長

山野ひとみ 倉敷芸術科学大学生命科学部生命科学科准教授

吉岡 勉 倉敷市立自然史博物館友の会会長
(敬称略、五十音順)

(4) 倉敷市立自然史博物館協議会の開催 7月20日.

4 委員、役員委嘱

(1) 杉本紀明: 館長

令和5年総会～令和7年総会 「岡山県博物館協議会理事」 岡山県.

(2) 武智泰史: 地学担当

令和4年4月24日～令和6年4月 「倉敷市立自然史博物館友の会評議員」 倉敷市立自然史博物館友の会.

令和4年4月24日～令和6年4月 「倉敷市立自然史博物館友の会幹事」 倉敷市立自然史博物館友の会.

令和4年2月～令和6年2月13日、令和6年2月13日～令和8年2月 「標本救済ネットケースワーカー」 西日本自然史系博物館ネットワーク.

(3) 鐵慎太郎: 植物担当

令和4年4月24日～令和6年4月 「倉敷市立自然史博物館友の会評議員」 倉敷市立自然史博物館友の会.

令和4年4月24日～令和6年4月 「倉敷市立自然史博物館友の会幹事」 倉敷市立自然史博物館友の会.

令和4年4月1日～令和6年3月31日 「岡山県野生動植物調査検討会植物部会協力員」 岡山県野生動植物調査検討会植物部会.

(4) 奥島雄一: 昆虫担当

令和4年4月24日～令和6年4月 「倉敷市立自然史博物館友の会評議員」 倉敷市立自然史博物館友の会.

令和4年4月24日～令和6年4月 「倉敷市立自然史博物館友の会幹事」 倉敷市立自然史博物館友の会.

令和5年1月1日～令和6年12月31日 「日本甲虫学会評議員」 日本甲虫学会.

令和5年1月1日～令和6年12月31日 「日本甲虫学会和文誌編集委員」 日本甲虫学会.

令和4年4月23日～令和7年4月頃 「倉敷昆虫同好会幹事」 倉敷昆虫同好会.

令和4年4月1日～令和6年3月31日 「岡山県野生動植物調査検討会委員 (昆虫部会副部会長)」 岡山県野生動物調査検討会.

令和5年4月1日～令和8年3月31日 「岡山県環境影響評価技術審査委員会委員」 岡山県環境文化部門環境企画課.

令和5年4月1日～令和6年3月31日 「河川水辺の国勢調査アドバイザー（吉井川・苫田ダム）」 国土交通省中国地方整備局。

令和5年6月21日～令和6年3月31日 「小田川合流点付替え事業環境影響評価フォローアップ委員会委員」 国土交通省中国地方整備局高梁川・小田川緊急治水対策河川事務所。

令和4年8月1日～令和6年7月31日 「岡山県自然環境保全審議会委員」 岡山県環境文化部自然環境課。

令和4年2月7日～令和6年2月13日、令和6年2月13日～令和8年2月の西日本自然史系博物館ネットワーク総会まで 「標本救済ネットケースワーカー」 西日本自然史系博物館ネットワーク

令和3年7月1日～令和6年6月30日 「希少野生動植物種保存推進員」 環境省自然保護局野生生物課。

令和2年4月1日～令和7年3月31日 「岡山県自然保護センター管理運営委員会委員」 公益財団法人岡山県環境保全事業団。

令和4年1月1日～令和5年12月31日、「倉敷市環境審議会（生物多様性部会）臨時委員」 倉敷市。

継続 「倉敷の自然をまもる会理事」 倉敷の自然をまもる会。

継続 「日本昆虫目録コメツキグループ調整担当」 日本昆虫目録編集委員会。

(5) 江田伸司：動物担当

継続 「日本野鳥の会岡山県支部幹事」 日本野鳥の会岡山県支部。

令和4年4月1日～令和6年3月31日 「岡山県野生動植物調査検討会運営委員」 岡山県野生生物調査検討会。

令和4年4月1日～令和6年3月31日 「岡山県野生動植物調査検討会委員（動物部会会長）」 岡山県野生生物調査検討会。

令和4年4月24日～令和6年4月 「倉敷市立自然史博物館友の会評議員」 倉敷市立自然史博物館友の会。

令和4年4月24日～令和6年4月 「倉敷市立自然史博物館友の会幹事」 倉敷市立自然史博物館友の会。

令和3年7月1日～令和6年6月30日 「希少野生動植物種保存推進員」 環境省自然保護局野生生物課。

令和4年6月～令和6年6月 「佐藤清明資料保存会顧問」 佐藤清明資料保存会。

5 会議等派遣

(1) 奥島雄一：昆虫担当（6回）

6月6日 「岡山県野生動植物調査検討会令和5年度第1回昆虫部会」 岡山県野生動植物調査検討会。

7月26日 「令和5年度第1回岡山県自然保護センター管理運営委員会」 岡山県環境保全事業団。

8月18日 「令和5年度第1回倉敷市環境審議会生物多様性部会」 倉敷市環境政策課。

9月26日 「第7回小田川合流点付替え事業環境影響評価フォローアップ委員会」 国土交通省中国地方整備局高梁川・小田川緊急治水対策河川事務所。

3月14日 「岡山県野生動植物調査検討会令和5年度第1回運営委員会」 岡山県野生動植物調査検討会。

3月14日 「令和5年度第2回岡山県自然保護センター管理運営委員会」 岡山県環境保全事業団。

(2) 江田伸司：動物担当（1回）

6月1日 「岡山県野生動植物調査検討会令和5年度動物部会」 岡山県野生動植物調査検討会動物部会。

6 広報活動

ホームページの公開および更新を行うほか、「広報くらしき」「イベントニュース」「パワフルキッズ」「FMくらしき」「友の会ニュース」等でPRを行っている。そのほか、新発見や話題性のあるニュースについては記者クラブへ広報資料を提供している。

ホームページビュー数：172,337回（令和6年3月31日現在）。

メールマガジン登録数（LINE配信含む）：1,631件（令和6年3月31日現在）。

メールマガジン配信数：12回。

X(旧Twitter)フォロワー数：1,225件（令和6年3月31日現在）。

X(旧Twitter)投稿数：226回。

Instagramフォロワー数：1,017件（令和6年3月31日現在）。

Instagram投稿数：164回。

7 職員の研修参加（博物館業務に関するもの）

(1) 奥島雄一：昆虫担当

6月18日 「日本甲虫学会_ABS講習会／アジア諸国の遺伝資源の取得手続き」（オンライン開催） 日本甲虫学会。

9月16～18日 「日本昆虫学会第83回大会」 日本昆虫学会、佐賀大学。

10月2日 「新登録制度推進のための実施体制支援及びプロモーション活動事業」 令和5年度「有識者研修会」（オンライン開催） 日本博物館協会。

11月10日 「管理職のためのメンタルヘルス研修」 職員研修所。

11月26日 日本学術会議公開シンポジウム「動物科学の最前線：めぐるめく多様性を科学する(2)」（オンライン開催） 日本学術会議基礎生物学委員会 日本学術会議基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同動物科学分科会。

1月31日 教育委員会研修「人権教育研修（子どもが安心できる地域の居場所づくり）」 教育企画総務課.

2月28日 「～キホンを抑え・準備万端で臨む！～ NPO 法人設立説明会」（オンライン開催） 認定 NPO 法人アカツキ.

2月29日 フォーラム「新登録制度の拡充による博物館の充実に向けて」（オンライン開催） 日本博物館協会.

3月1日 倉敷市生物多様性地域戦略推進庁内研修会「100年事業!?!倉敷市から日本を変える。自然環境保護で自然災害に強い国を創る。《自然の声なき声》」 環境政策課.

3月10日 シンポジウム「これからの博物館振興のカタチを考えるー博物館の中間支援組織と外部資金獲得の可能性ー」（オンライン開催） 文化庁.

(2) 江田伸司：動物担当

9月16～18日 「日本鳥学会 2023 年度大会」 日本鳥学会、金沢大学.

3月8日 「岡山県博物館協議会令和5年度研修会」 岡山県博物館協議会、岡山県立博物館.

8 視察来館

1月17日 西東京市議会議員 4名

9 無料開放

(1) 市内の小・中学生対象

いきいきパスポート利用者数 延べ475名
高梁川流域パスポート利用者数 延べ385名

(2) 一般対象

5月5日 こどもの日 250名
11月3日、4日、5日 博物館まつり 2,096名

3月23日 ナイトミュージアム

794名

10 予算・決算（単位：円）

【歳入】

科目名称	予算現額	決算額	備考
施設使用料	1,000	3,740	
自然史博物館観覧料	1,129,000	1,492,330	
	412,000	588,600	特別展観覧料
	717,000	903,730	常設展観覧料
拾得金返還雑入	0	0	
労働保険料精算雑入	0	2,066	
観光休憩所水道料雑入	154,000	133,573	
書籍荒払雑入	334,000	218,963	
講師等派遣雑入	16,000	144,000	
合計	1,634,000	1,994,672	

【歳出】

科目名称	予算現額	決算額	備考
報酬	7,435,000	6,377,416	
	114,000	49,700	協議会委員分
	7,321,000	6,327,716	会計年度任用職員分
給料	23,285,000	23,127,900	
職員手当等	14,393,000	12,363,043	
	13,011,000	11,350,474	職員分
	1,382,000	1,012,569	会計年度任用職員分
共済費	8,669,000	8,227,407	
	7,221,000	7,018,707	職員分
	1,448,000	1,208,700	会計年度任用職員分
報償費	322,000	295,800	
旅費	141,560	126,120	
需用費	13,582,890	11,918,095	
	1,582,904	1,580,588	消耗品費
	3,000	1,487	食糧費
	2,062,096	1,644,500	印刷製本費
	9,726,890	8,624,540	光熱水費
	200,000	59,290	修繕料
	4,000	3,890	飼料費
	4,000	3,800	医薬材料費
役務費	2,429,000	1,536,846	
	2,089,000	1,368,246	通信運搬費
	340,000	168,600	手数料
委託料	12,338,000	12,215,398	
使用料及び賃借料	153,000	66,196	
備品購入費	286,550	231,970	
負担金補助及び交付金	54,000	54,000	
合計	83,089,000	76,540,191	

※その他の施設管理費（委託料；中央図書館支払分）

16,598（千円）

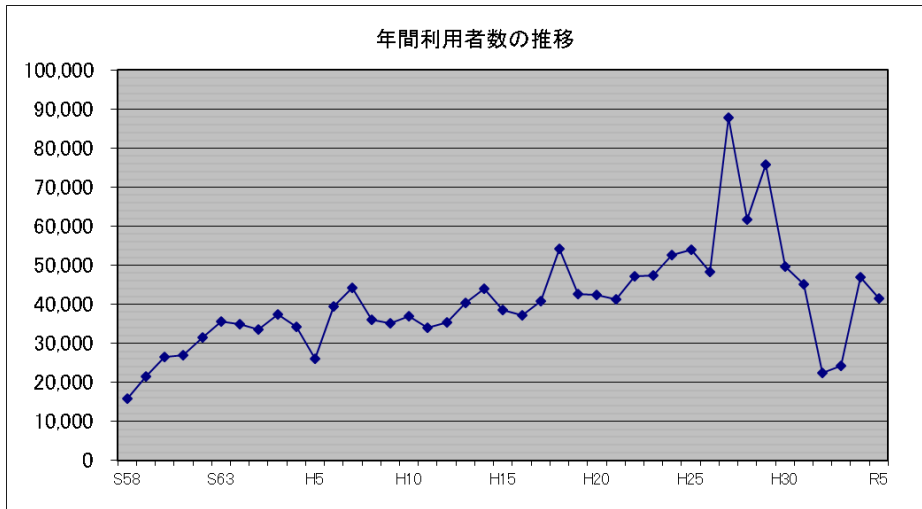
11 年間利用者数

(1) 令和5年度利用者数 (単位：人)

月	開館日数	有 料				有料入館者合計	有料入館者のうち外国人	無 料													無料入館者合計	館内利用者 (※1)	来館者合計 (A)	館外利用者 (B)	利用者合計 (A+B)
		通常		割引				個人					団体					特別観覧	乳幼児						
		一般	大学生	一般	大学生			高齢者	障がい者	小学生	中学生	高校生	保育・幼稚園児	小学生	中学生	支援学校生	高校生			その他					
4	25	656	29	1	34	720	10	163	57	280	27	70	44	0	0	0	0	0	35	272	948	596	2,264	99	2,363
5	26	648	55	1	37	741	15	143	47	227	39	36	102	0	38	10	32	0	191	250	1,115	644	2,500	230	2,730
6	25	544	35	5	0	584	15	167	62	152	16	20	0	0	0	0	0	4	50	190	661	647	1,892	251	2,143
7	26	1,144	50	3	25	1,222	36	179	54	484	48	35	11	0	47	46	52	114	90	445	1,605	790	3,617	308	3,925
8	27	1,805	93	6	0	1,904	47	240	64	943	121	68	59	0	0	0	34	396	96	685	2,706	930	5,540	221	5,761
9	26	933	87	8	0	1,028	19	221	66	358	31	18	54	636	0	18	0	8	24	359	1,793	768	3,589	232	3,821
10	26	642	25	3	0	670	16	185	63	192	33	20	126	628	0	4	0	40	32	218	1,541	670	2,881	204	3,085
11	26	463	33	1	19	516	13	270	25	761	35	48	139	478	0	12	33	32	921	530	3,284	784	4,584	73	4,657
12	23	402	50	3	57	512	9	83	45	122	11	19	91	5	154	0	0	10	19	168	727	586	1,825	68	1,893
1	23	614	41	1	34	690	21	98	39	186	21	15	100	421	63	4	0	8	35	257	1,247	674	2,611	18	2,629
2	25	897	65	21	0	983	21	76	54	326	175	44	341	950	6	7	2	22	37	335	2,375	835	4,193	49	4,242
3	27	903	101	0	0	1,004	32	196	45	328	56	46	219	0	0	0	0	172	849	404	2,315	760	4,079	116	4,195
合計	305	9,651	664	53	206	10,574	254	2,021	621	4,359	613	439	1,286	3,118	308	101	153	806	2,379	4,113	20,317	8,684	39,575	1,869	41,444

- ・特別観覧：招待券持参者、友の会会員、無料開放日來館者等
- ・館内利用者 (※1)：講義室での各種講座参加者、学習コーナー等利用者
- ・来館者合計 (A)：有料入館者合計+無料入館者合計+館内利用者 (※1)
- ・館外利用者 (B)：自然観察会等参加者

(2) 年間利用者数の推移 (単位：人)



(3) 学生個人・団体の市内外別内訳 (単位：人)

月	個人												団体														
	小学生			中学生			高校生			保育・幼稚園			小学校			中学校			支援学校			高校			その他		
	市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計
4	173	107	280	10	17	27	9	61	70	44	0	44	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	114	113	227	14	25	39	17	19	36	85	17	102	0	0	0	38	38	0	10	10	32	0	32	0	0	0	
6	87	65	152	12	4	16	8	12	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	4	0	
7	303	181	484	22	26	48	27	8	35	0	11	11	0	0	0	47	25	21	46	52	0	52	0	114	114		
8	493	450	943	41	80	121	26	42	68	44	15	59	0	0	0	0	0	0	0	34	34	152	244	396	396		
9	180	178	358	18	13	31	9	9	18	54	0	54	310	326	636	0	0	0	18	18	0	0	0	8	8	8	
10	103	89	192	16	17	33	3	17	20	69	57	126	432	196	628	0	0	0	4	4	0	0	7	33	40	40	
11	75	184	259	16	4	20	10	48	71	68	139	478	0	478	0	0	0	12	12	33	0	33	32	0	32		
12	73	49	122	10	1	11	4	15	19	61	30	91	0	5	5	0	154	154	0	0	0	0	0	10	10		
1	96	90	186	11	10	21	10	5	15	100	0	100	421	0	421	63	0	63	4	0	0	0	8	8	8		
2	235	91	326	112	63	175	11	33	44	295	46	341	858	92	950	0	6	6	0	7	2	0	2	0	22	22	
3	155	173	328	30	26	56	21	25	46	124	95	219	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	94	78	172	172	
計	2,087	1,770	4,359	312	286	613	161	256	439	947	339	1,286	2,499	619	3,118	63	245	308	29	72	101	119	34	153	289	517	806

- ・その他：児童クラブ、子ども会等

【倉敷市立自然史博物館中期計画の点検(2019~2023年度)】

表の見方: ①目標値は設定することが好ましいもののみ ②すでに目標値に達していると思われる項目は維持を目標とする ③網掛けは累計数値

大項目:使命	中項目	番	評価指標	参考値	現状値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値	凡例(累計以外は年度集計)	番			
				2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度						
集めて未来につなげる博物館は、倉敷市とそれにつながる地域の自然の情報拠点として、人類共通の財産である標本・文献等の資料を積極的に収集・保管し、次世代に引き継ぐこと、過去から現在そして未来への懸け橋となります。	資料の収集に努めているか	1	一次資料収蔵点数	856,261	938,163	973,030	980,658	1,033,053	1,046,482	1,097,086	—	受入れ点数の累計	1			
		2	一次資料採集点数	523	367	496	125	558	338	506	—	業務内採集点数	2			
		3	一次資料寄贈点数	29,837	81,535	58,396	7,506	50,137	12,930	48,797	—	寄贈受入点数	3			
		4	一次資料登録点数	471,607	485,955	498,886	510,655	533,515	542,762	547,790	560,000	—	登録済資料点数累計	4		
		5	一次資料データベース入力点数	444,134	457,448	468,863	480,507	514,365	515,777	517,836	535,000	—	上記のうちデータが電子化されている点数	5		
		6	二次資料登録点数(図書)	11,902	12,506	12,875	13,152	13,438	13,797	14,383	—	—	登録・入力済点数累計	6		
		7	二次資料登録点数(雑誌)	34,818	35,946	38,852	41,292	44,666	46,053	47,229	—	—	登録・入力済点数累計	7		
		8	一次資料利用件数	111	213	176	116	66	98	141	250	—	来館利用回数+貸出手続き回数、ボランティア除く	8		
		9	二次資料利用件数	12	12	49	10	47	53	34	30	—	来館利用回数+貸出手続き回数	9		
		10	一次資料利用著作件数	27	29	37	29	23	21	17	40	—	収蔵資料を引用した著作件数、出版後寄贈含む	10		
		11	博物館のお宝探検開催回数	25	46	27	26	23	37	27	50	—	単独開催+イベント	11		
		12	博物館のお宝探検参加者数	—	—	481	56	64	230	228	—	—	単独開催+イベント	12		
教養文化の向上をめざす博物館は、自然に関する調査研究を行い、その成果を展示や教育普及活動により発信し、学習機会を提供することで、人々の自然への興味・関心や学習意欲を高め、教養文化の向上に寄与します。	調査研究を行っているか	13	野外調査回数	70	43	72	34	124	115	103	—	業務内調査日数	13			
		14	館員著作件数	145	122	131	125	140	132	81	150	—	館内刊行物(パンフ、研報)+館外刊行物	14		
		15	特別展総観覧者数	20,004	10,015	12,622	6,126	7,558	16,608+9,093	12,396	—	—	会期中観覧者数	15		
		16	特別展日平均観覧者数	322.6	178.8	148.5	77.5	243.8	230.7+165.3	142.4	250	—	総観覧者/会期日数	16		
		17	特別展満足度	91	—	92	—	98	79	93	85	—	%、大変満足+満足/5段階評価	17		
		18	特別展関係開催回数	4	6	10	8	8	6	5	—	—	年度内開催件数、年度をまたぐものは前年へ	18		
		19	常設展・一時展示更新回数	11	10	10	11	9	14	11	—	—	年度をまたぐものは前年へ	19		
		20	館員講演件数	10	8	8	6	6	6	6	15	—	館行事(研究紹介、スライド)+館外	20		
		21	観察会参加者数	675	680	789	351	511	712	944	800	—	—	—	21	
		22	博物館講座参加者数	184	214	184	173	86	233	175	250	—	—	—	22	
		23	各種教室等参加者数	474	478	309	201	180	221	334	500	—	—	—	23	
		24	出前講座等参加者数	949	1,125	1,572	1,059	1,216	2,004	867	1,300	—	—	—	24	
		25	自然史博物館まつり参加者数	8,395	8,825	5,701	—	—	2,007	2,096	9,000	—	—	—	25	
		26	自然史博物館まつり満足度	95.1	98.7	95.2	—	—	—	—	95	—	%、大変満足(非常に良い)+満足(良い)/5段階評価	26		
		27	自然にふれる活動に参加している子どもの数 自然にふれたが、学んだりする活動に参加している子どもの数	594	378	577	185	454	270	819	700	—	屋外行事(友の会行事含む)の中学生以下の参加者数:倉敷市教育振興基本計画指標	27		
人づくりを担う博物館は、その活動・事業を通じて様々な世代の人々の多様な学習やボランティア活動を支援し、自然と人が共生し未来につながる持続可能な社会の実現に貢献する人材を育てます。	ボランティアが活動できているか	28	展示メンテナンス延べ人数	56	32	47	46	0	0	0	40	ミニ水族館(R3年度から芸科大委託事業に移行)	28			
		29	展示ガイド回数	37	29	28	1	0	1	1	40	昆虫ガイド	29			
		30	資料作製・整理延べ人数	709	1,327	742	413	413	600	744	800	—	脊椎グループ、動物、昆虫、植物	30		
		31	自然史博物館利用者から自然史系大学・職業等に進んだ人数	21	21	24	24	25	25	28	25	—	高校生時までに当館に通い、卒業後自然史系の大学・職業等に進んだ累積人数	31		
		32	職場体験受入れ人数	31	15	21	0	3	19	13	30	—	中学生	32		
		33	博物館実習・インターン受入れ人数	4	2	4	4	4	7	6	5	—	大学生	33		
		34	共著著作件数	20	18	20	19	23	15	14	30	—	館員と館外者の共著件数	34		
		35	編集委員(校閲者)を務めた出版物	21	21	31	22	22	20	20	—	—	冊数(館・友の会+館外)、原稿別は下記に含む	35		
		36	レファレンス件数	964	990	976	1,033	941	1,015	890	1,000	—	上記以外の査読・校閲・研究協力含む	36		
		37	(倉敷)まちかど博物館申請件数	13	11	17	14	18	22	22	15	—	—	37		
		38	(倉敷)まちかど博物館貸出回数	41	40	34	32	34	53	46	50	—	継続含まず、更新・仮展示含む	38		
		39	学校用標本貸出件数	2	1	2	2	0	1	9	3	—	地学+昆虫	39		
連携して共に成長する博物館は、学校、地域や博物館友の会等の多様な主体と連携・協力して、専門の力量とともに総合的な力を高め、活動の充実・発展を図ります。	収蔵資料の連携した活用ができているか	40	他館等協力展示件数	2	0	5	5	5	3	5	1	—	—	40		
		41	共催行事件数	46	41	42	20	30	42	36	45	—	—	—	41	
		42	講師派遣行事数	9	6	7	1	2	2	3	10	—	—	—	42	
		43	出前講座等講師派遣件数	29	25	36	25	32	30	25	30	—	—	—	43	
		44	会議派遣件数	29	32	30	23	18	21	7	—	—	—	—	44	
		45	正規職員数	6	6	6	6	6.5	7	7	—	—	—	—	45	
		46	嘱託・会計年度任用職員数	5	5	5	5	11	10	8	—	—	—	—	46	
		47	占有延べ床面積(m ²)	3,263.08	3,263.08	3,263.08	3,263.08	3,263.08	3,263.08	3,263.08	—	—	—	—	47	
		48	一時使用床面積(m ²)	189	189	189	189	189	189	189	—	—	—	—	48	
		49	内収蔵床面積(m ²)	677.87	677.87	677.87	677.87	677.87	677.87	677.87	—	—	—	—	49	
		より魅力的な博物館をめざす博物館は、人的・物的・財政的な基盤を確保し、適切に管理・運営します。さらに、事業の評価・改善や広報活動を通じて、利用者サービスや社会的価値の向上に努め、より魅力的な博物館をめざします。	職員数の状況	50	歳出総額	90,351,482	84,908,844	85,157,892	85,546,757	78,868,633	90,320,350	93,138,565	—	—	—	50
				51	館歳入	2,191,178	1,639,674	1,378,154	1,483,443	1,317,594	2,797,854	1,994,672	—	—	—	—
52	全体利用者数			75,740	49,658	45,123	22,503	24,322	46,867	41,444	60,000	—	—	—	52	
53	来館者数			54,720	48,445	43,413	21,423	23,001	44,381	39,575	55,000	—	—	—	53	
54	外国人観覧者数			30	164	183	29	13	29	254	—	—	—	—	54	
55	子ども観覧者数			18,213	18,491	15,453	7,104	9,112	16,852	13,898	20,000	—	—	—	55	
56	学校園等団体利用件数			159	185	179	58	51	119	164	200	—	—	—	56	
57	来館者総合満足度			84	86	86	90	94	91	88	85	—	—	—	57	
58	友の会会員数			824	880	876	831	725	780	793	1,000	—	—	—	58	
59	マスコミ報道件数			87	76	41	73	64	71	58	90	—	—	—	59	
60	ホームページアクセス数			—	—	26,156	53,765	66,019	176,108	172,337	50,000	—	—	—	60	
広報活動が十分に引き届いているか	61			メールマガジン登録者数	986	1,074	756	960	1,207	1,396	1,631	1,500	—	—	—	61
	62	メールマガジン配信数	35	18	13	14	12	13	12	—	—	—	—	62		
	63	X(Twitter)投稿数	112	158	219	378	309	441	226	200	—	—	—	63		
	64	X(Twitter)フォロワー数	—	110	369	557	832	1,105	1,225	600	—	—	—	64		
	65	Instagram投稿数	—	38	41	38	65	115	164	100	—	—	—	65		
	66	Instagramフォロワー数	—	137	269	424	629	854	1,017	300	—	—	—	66		
	67	施設・事業が改善されているか	—	—	8	10	9	6	3	10	—	—	—	67		
	68	運営面の改善件数	—	—	7	4	2	1	0	10	—	—	—	68		
	69	研修参加回数	32	17	30	16	28	19	16	30	—	—	—	69		
	70	職員の対応に対する満足度	82*	82*	88	88	100	83	89	85	—	—	—	70		

倉敷市立自然史博物館の運営方針

平成30年12月7日

1 理念（コンセプト）

倉敷市立自然史博物館は、郷土倉敷とそれにつながる地域の自然と人との関わりについて、市民の関心や理解を深め、学習を支援することにより、市民の教養と地域文化の向上に寄与します。

2 使命（ミッション）—理念実現に向けて—

倉敷市立自然史博物館（以下「博物館」という。）は、理念の実現に向けて、次に掲げる使命を持って、資料の収集・保管、調査研究、展示及び教育普及活動を推進します。

○集めて未来につなげる

博物館は、倉敷市とそれにつながる地域の自然の情報拠点として、人類共通の財産である標本・文献等の資料を積極的に収集・保管し、次世代に引き継ぐことで、過去から現在そして未来への懸け橋となります。

○教養文化の向上をめざす

博物館は、自然に関する調査研究を行い、その成果を展示や教育普及活動により発信し、学習機会を提供することで、人々の自然への興味・関心や学習意欲を高め、教養文化の向上に寄与します。

○人づくりを担う

博物館は、その活動・事業を通じて様々な世代の人々の多様な学習やボランティア活動を支援し、自然と人が共生し未来につながる持続可能な社会の実現に貢献する人材を育てます。

○連携して共に成長する

博物館は、学校、地域や博物館友の会等の多様な主体と連携・協力して、専門的力量とともに総合的な力を高め、活動の充実・発展を図ります。

○より魅力的な博物館をめざす

博物館は、人的・物的・財政的な基盤を確保し、適切に管理・運営します。さらに、事業の評価・改善や広報活動を通じて、利用者サービスや社会的価値の向上に努め、より魅力的な博物館をめざします。

倉敷市立自然史博物館の資料収集方針

平成30年12月7日

倉敷市立自然史博物館は、その使命（ミッション）に基づき、資料を収集・保管するものとし、収集対象資料は次のとおりとする。

収集対象は、自然史関連の実物標本、レプリカ、文献、画像、映像等とし、次のいずれかに該当するものとする。

1 地勢的・気候的又は生物地理学的に倉敷市及びそれに関連する地域に関する資料

〔説明〕

地質・地形及び生物相に関するもので、過去から現在、未来へと変遷の検証が可能なものの収集に努める。また、収集地域には学術の見地から、当市と地勢的・気候的に関連した近隣地域（高梁川流域・山陽・瀬戸内など）又は生物地理学的に関連のある地域を含めるものとする。

2 展示を中心とした教育普及又は研究に活用できる資料

〔説明〕

地球の歴史と生命の進化及び生物多様性といった学校教育や社会で重視されている分野の研究・教育普及に活用できる資料の収集に努める。

○倉敷市立自然史博物館条例

昭和58年9月22日
条例第28号

(目的及び設置)

第1条 自然史に関する科学について、資料を収集し、保管し、展示するとともに、その調査研究及び普及指導を行い、市民の教養文化の向上に寄与することを目的として本市に自然史博物館(以下「博物館」という。)を設置する。

(名称及び位置)

第2条 博物館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
倉敷市立自然史博物館	倉敷市中央2丁目6番1号

(事業)

第3条 博物館は、その目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- 自然史に関する実物、標本、文献、図書、図表、写真、フィルム等(以下「博物館資料」という。)を収集し、保管し、展示すること。
- 博物館資料を利用させること。
- 自然史に関する科学についての調査研究並びに博物館資料の保管及び展示等に関する技術的研究を行うこと。
- 自然史に関する講習会、研究会等を主催し、及びその開催を援助すること。
- 他の博物館、学校、研究所等と連携協力し、刊行物及び情報の交換並びに博物館資料の相互貸借等を行うこと。
- その他自然史に関する科学に関する事業

(職員)

第4条 博物館に館長、学芸員その他必要な職員を置く。

(常設展及び特別展)

第5条 博物館は、博物館資料を常時展示する常設展及び特別展を開催する。

- 常設展又は特別展を観覧しようとする者は、別表第1又は別表第2に定める観覧料を納付しなければならない。
- 前項の観覧料は、観覧の際、納付するものとする。

(博物館資料の利用)

第6条 博物館は、その所蔵する博物館資料を学術的研究等のために利用させることができる。

- 前項の博物館資料を利用しようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。
- 教育委員会は、前項の許可に当たり、管理上必要な条件を付することができる。

(講義室の使用)

第7条 自然史に関する科学についての講習会、研究会等のため、博物館に講義室を設置する。

- 教育委員会は、前項の設置目的又は博物館の業務に支障を及ぼさない範囲内において、講習会、研究会等のため、講義室を使用させることができる。
- 講義室を使用しようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。
- 教育委員会は、前項の許可に当たり、管理上必要な条件を付することができる。
- 第3項の許可を受けた者は、別表第3に定める使用料を納付しなければならない。
- 前項の使用料は、その許可の際、納付しなければならない。ただし、教育委員会において特別の理由があると認めるときは、別に納期限を定めて納付させることができる。

(使用料等の還付)

第8条 既納の観覧料及び使用料(以下「使用料等」という。)は、還付しない。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、その全部又は一部を教育委員会規則で定めるところにより還付することができる。

- 災害その他使用者の責めに帰することができない理由により使用不能となつたとき。
- 使用者が使用開始前に使用の取消しを届け出た場合で、教育委員会において相当の理由があると認めるとき。
- 使用者が使用開始前に使用許可の変更を申請した場合で、教育委員会において相当の理由があると認めるとき。
- 前3号に掲げるもののほか、教育委員会において相当の理由があると認めるとき。

(使用料等の減免)

第9条 教育委員会は、公益上必要があると認めるときは、使用料等を減免することができる。

(目的外使用等の禁止)

第10条 第6条第2項又は第7条第3項の許可を受けた者は、その許可を受けた目的以外に使用し、又はその権利を他に譲渡し、若しくは転貸してはならない。

(入館の制限等)

第11条 教育委員会は、次の各号の一に該当する者に対しては、博物館への入館を拒み、又は退館を命ずることができる。

- 酩酊して他人に迷惑をかけるおそれのある者
- 他人に危害を及ぼし、又は迷惑をかけるおそれのある物品又は動物の類を携行する者
- 許可なくして営業行為をし、又は張り紙若しくは広告を行う者
- 施設又は博物館資料を損傷するおそれがあると認める者
- 秩序又は風俗を乱すおそれがあると認める者
- その他管理上支障があると認める者

(損害賠償)

第12条 施設又は博物館資料を損傷又は滅失した者は、教育委員会の指示に基づき、これを原形に復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、教育委員会においてやむを得ない理由があると認めるときは、この限りでない。

(博物館協議会の設置)

第13条 博物館に倉敷市立自然史博物館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

- 協議会は、委員15人以内で組織する。
- 委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱し、又は任命する。
- 学校教育及び社会教育の関係者
- 家庭教育の向上に資する活動を行う者
- 学識経験を有する者
- 前3号に掲げる者のほか、教育委員会が必要と認める者
- 委員の任期は、2年とする。ただし、委員に欠員を生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 委員は、再任することができる。

(協議会の職務)

第14条 協議会は、博物館の運営に関し、館長の諮問に応ずるとともに、館長に対し、意見を述べる機関とする。

(委任)

第15条 この条例の施行について必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

(施行期日)
1 この条例の施行期日は、規則で定める。
(昭和58年10月規則第53号で、同58年11月3日から施行)

(関係条例の改正)

2 特別職の職員で非常勤のものの報酬および費用弁償に関する条例(昭和42年倉敷市条例第23号)の一部を次のように改正する。

別表中「

展示美術館協議会委員	同 5,000円	同
------------	----------	---

」の次に「

自然史博物館協議会委員	同 5,000円	同
-------------	----------	---

」を加える。

附 則(昭和62年6月30日条例第43号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則(平成3年9月30日条例第17号)

(施行期日)
1 この条例は、平成3年10月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例による改正後の各種使用料等に係る規定は、この条例の施行の日以後に使用等の許可を受けた者について適用し、同日前に使用等の許可を受けた者については、なお従前の例による。

附 則(平成9年3月25日条例第4号)

(施行期日)
1 この条例は、平成9年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例による改正後の各種使用料等に係る規定は、この条例の施行の日以後に使用等の許可を受けた者について適用し、同日前に使用等の許可を受けた者については、なお従前の例による。

附 則(平成12年3月24日条例第28号)
この条例は、平成12年4月1日から施行する。

附 則(平成18年3月24日条例第39号)
この条例は、平成18年4月1日から施行する。

附 則(平成24年3月16日条例第11号)
この条例は、平成24年4月1日から施行する。

附 則(平成25年12月26日条例第50号抄)
(施行期日)
1 この条例は、平成26年4月1日から施行する。

(その他の使用料等に係る経過措置)

6 この条例(第1条及び第34条を除く。)による改正後の各種使用料等に係る規定は、施行日以後に使用許可その他の行為が行われるものに係る使用料等について適用し、施行日前に当該行為が行われたものに係る使用料等については、なお従前の例による。

附 則(平成31年3月22日条例第3号抄)

(施行期日)
1 この条例は、平成31年10月1日から施行する。
(その他の使用料等に係る経過措置)
6 この条例(第2条及び第32条を除く。)による改正後の各種使用料等に係る規定は、施行日以後に使用許可その他の行為が行われるものに係る使用料等について適用し、施行日前に当該行為が行われたものに係る使用料等については、なお従前の例による。

別表第1(第5条関係)

常設展観覧料		
区分	個人	団体(20人以上)
一般	1人1回 150円	1人1回 100円
大学生	1人1回 50円	1人1回 30円
高校生以下	無料	

備考 金額には消費税及び地方消費税を含む。

別表第2(第5条関係)

特別展観覧料		
区分	個人	団体(20人以上)
一般	1人1回につき550円の範囲内で教育委員会が別に定める額	
大学生	同	
高校生以下	同	

備考 金額には消費税及び地方消費税を含む。

別表第3(第7条関係)

使用場所/使用時間	基本使用料			冷暖房の使用
	午前9時から午後12時まで	午後1時から午後5時まで	午前9時から午後5時まで	
講義室	440円	660円	1,100円	1時間につき770円

備考
1 冷暖房の使用時間の計算については、30分未満は切り捨て、30分以上は1時間として取り扱うものとする。
2 金額には消費税及び地方消費税を含む。

○倉敷市立自然史博物館条例施行規則

昭和58年10月14日
教育委員会規則第15号

(趣旨)

第1条 この規則は倉敷市立自然史博物館条例(昭和58年倉敷市条例第28号。以下「条例」という。)の施行に関し、必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第2条 倉敷市立自然史博物館(以下「博物館」という。)の開館時間は、午前9時から午後5時15分までとする。ただし、博物館への入館は閉館時刻の30分前までとする。

2 前項の規定にかかわらず、館長において必要があると認めるときは、開館時間を変更することができる。

(休館日)

第3条 博物館の休館日は、次のとおりとする。

(1) 月曜日(この日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日と当るときは、その日後においてその日に最も近い同法に規定する休日でない日とする。)

(2) 12月28日から翌年の1月4日まで。
2 館長は、必要があると認めるときは、前項の休館日以外の日において臨時に休館し、又は同項の休館日において臨時に開館することができる。

(観覧券の交付)

第4条 条例第5条の規定により観覧料を納付したのに対して観覧券を交付するものとする。

2 教育委員会は必要と認めるとき、特別観覧券又は優待券を発行することができる。

3 観覧券の発売時間は、開館時刻から閉館時刻の30分前までとする。

(入館者の遵守事項)

第5条 入館者は、条例に規定するもののほか、次の事項を守らなければならない。

- (1) 小学校就学前の幼児は、保護者又はそれに相当するものと同伴すること。
- (2) 所定の場所以外で、喫煙又は飲食をしないこと。
- (3) その他館長が必要と認め指示した事項

(資料の寄贈)

第6条 博物館に資料を寄贈しようとするもの(以下「寄贈者」という。)は、所定の寄贈申請書を館長に提出しなければならない。

2 前項の申請について、当該資料が博物館の資料として、適当と認められるときは、館長は、所定の受領書を当該寄贈者に交付し、寄贈を受けるものとする。

(資料の寄託)

第7条 博物館に資料を寄託しようとするもの(以下「寄託者」という。)は、所定の寄託申請書を館長に提出しなければならない。

2 前項の申請について、当該資料が博物館の資料として適当と認められるときは、館長は所定の資料受託書を当該寄託者に交付し、寄託を受けるものとする。

(資料の返還)

第8条 寄託者が寄託期間中に、資料の返還を請求するときは、それが適当と認められるとき、館長に所定の返還申請書を提出し、資料受託書と引き替えに資料を返還するものとする。

(資料の貸し出し)

第9条 条例第6条の規定により、博物館の資料貸し出しを受けようとする者は、所定の貸出許可申請書を館長に提出しなければならない。

2 前項の申請について、当該資料の貸し出しを適当と認められるときは、館長は当該申請者に対し所定の貸出許可書を交付し、資料を貸し出すものとする。
3 資料の貸し出し期間は30日以内とする。ただし、館長が特に必要と認めるときはこの限りでない。

(講義室の使用)

第10条 条例第7条の規定により講義室の使用許可を受けようとする者は、所定の使用許可申請書を館長に提出しなければならない。

2 前項の使用許可をしたときは、館長は所定の使用許可書を当該申請者に交付するものとする。

(使用者の遵守事項)

第11条 前条の規定により使用許可を得たものは、次の事項を守らなければならない。

- (1) 定められた場所以外で火気を使用しないこと。
- (2) 許可を受けた設備以外は使用しないこと。
- (3) 使用する施設及び附属設備を管理し、取り締りの責任をもつこと。
- (4) その他館長が必要と認め指示した事項

(使用料等の還付)

第12条 条例第8条ただし書の規定により、使用料又は観覧料の還付を受けようとする者は、所定の還付申請書を教育委員会に提出しなければならない。

2 使用料又は観覧料の還付率は、次のとおりとする。

(1) 条例第8条第1号に該当する場合 100パーセント

(2) 条例第8条第2号に該当する場合で、使用日の2日前までに第8条に規定する使用取消届を提出したとき50パーセント

(3) 条例第8条第3号に該当する場合で、使用日の2日前までに第8条に規定する変更許可申請がなされたとき 変更前と変更後の使用料の差額の50パーセント

(4) 条例第8条第4号に該当する場合 教育委員会が相当であると認める率

(使用料等の減免)

第13条 条例第9条に規定する使用料等の減免については、次のとおりとする。

(1) 小学校、中学校、高等学校及びこれに準ずる学校の教職員が、学習活動のため児童又は生徒を引率して観覧するとき 観覧料の全額を免除

(2) 65歳以上の老人及び心身障害者が観覧するとき心身障害者の場合はその介護者1名を含めて観覧料の全額を免除

(3) 市又は市教育委員会が主催若しくは共催する自然史に関する事業で講義室を使用するとき 使用料の全額を免除

(4) 社会教育関係団体が主催する自然史に関する事業で講義室を使用するとき 使用料の全額を免除

(5) その他教育委員会が相当と認めるとき 教育委員会が相当と認める額を免除

2 前項第1号、第3号、第4号及び第5号に該当する場合は、教育委員会に所定の減免申請書を提出しなければならない。

(博物館協議会の運営)

第14条 条例第13条及び第14条に規定する倉敷市立自然史博物館協議会(以下「協議会」という。)に会長、副会長を置く。

2 会長、副会長は委員の互選により定める。
3 会長は会務を総理し、協議会を代表し、会議の議長となる。

4 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代行する。
5 会議は会長が招集する。

6 協議会は委員の過半数の出席により開催し、議事は出席委員の過半数で決し、可否同数のときは議長が裁決する。

7 協議会に専門部会を置くことができる。
8 協議会の庶務は、博物館において行なう。
9 前項までに規定するもののほか、協議会の運営について必要な事項は、会長が協議会に諮り定める。

(報告)

第15条 館長は、その月の博物館の利用状況について、翌月5日までに、文書により教育長に報告しなければならない。

(服務、文書の取り扱い等)

第16条 職員の服務、文書の取り扱い等については、倉敷市教育委員会事務局処務規則(昭和47年倉敷市教育委員会規則第14号)の例による。

(その他)

第17条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は教育委員会が別に定める。

附 則

この規則は、昭和58年11月3日から施行する。

附 則(昭和62年3月25日教委規則第7号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成3年6月25日教委規則第4号)

この規則は、平成3年7月1日から施行する。

附 則(平成8年1月11日教委規則第2号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成12年3月24日教委規則第9号)

この規則は、平成12年4月1日から施行する。

附 則(平成14年3月25日教委規則第6号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成17年7月27日教委規則第22号)

この規則は、平成17年8月1日から施行する。

附 則(平成17年12月20日教委規則第36号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成18年3月24日教委規則第9号)

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

○特別職の職員で非常勤のものの報酬および費用弁償に関する条例(一部抜粋)

昭和42年2月1日
条例第23号

(報酬)

第2条 報酬の額は別表のとおりとする。

別表(第2条関係)

区分	報酬の額
自然史博物館 協議会委員	日額 7,100円

○利用案内

[開館時間]

9時~17時15分(入館は16時45分まで)

[休館日]

月曜日(祝日または振替休日の時は、その翌日)、年末年始(12月28日~1月4日)、臨時休館日。

[観覧料]

- 一般:150円(100円)
- 大学生:50円(30円)
- 高校生以下:無料
- ・かつこ内は20名以上の団体の場合。
- ・65歳以上の方、障がい者とその介護者1名は無料。

[交通案内]

- ・自家用車の場合は付近の有料駐車場をご利用ください。
- ・JR倉敷駅より、南へ徒歩約15分、または路線バスで「大原美術館前」下車。



至新倉敷
至玉島IC
至山陽IC
至岡山

至山陽IC
至岡山

至山陽IC
至岡山

至山陽IC
至岡山

至山陽IC
至岡山

至山陽IC
至岡山

至山陽IC
至岡山

至山陽IC
至岡山

至山陽IC
至岡山

倉敷市立自然史博物館報 第33号 (令和5年度)

令和6年6月1日発行

発行者 倉敷市立自然史博物館

〒710-0046 岡山県倉敷市中央2-6-1

電 話 (086)425-6037

F A X (086)425-6038

E-mail: musnat@city.kurashiki.okayama.jp

<https://www.city.kurashiki.okayama.jp/musnat/>